

上三川町立小中学校の教育環境に向けたアンケート

〔 調 査 結 果 〕

令和5年7月

上三川町教育委員会

第1章 調査概要

1. 調査の目的

上三川町立小中学校の望ましい教育環境のあり方に向け、学校の適正規模及び適正配置を審議する上で必要な事項について、保護者、地域住民の意識を把握する。

2. 調査

調査種別	調査対象	調査方法	調査期間
保護者	小中学校の保護者	配付：Web配信 (一部学校配付) 回答：Web回答 (一部郵送)	6月5日 ～6月23日
地域	一般町民	配付：郵送 回答郵送又はWeb回答	
	幼稚園・保育所の保護者家庭		

3. アンケート設問内容

問 1：年齢	問 2：職業	問 3：居住区(小学校区)
問 4：同居する子供	問 5：小学生の望ましい徒歩通学時間	
問 6：小学校の望ましい学級数		
・問6-1：問6で「1学級」と回答した理由		
・問6-2：問6で「2学級以上」と回答した理由		
問 7：小学校の小規模対策	問 8：小学校の大規模対策	
問 9：中学生の望ましい通学時間	問10：中学校の望ましい学級数	
・問10-1：問10で「1～3学級」と回答した理由		
・問10-2：問10で「4学級以上」と回答した理由		
問11：中学校の教科指導	問12：義務教育学校について	
問13：域コミュニティとしての機能	問14：自由回答	

4. 回答数(率)

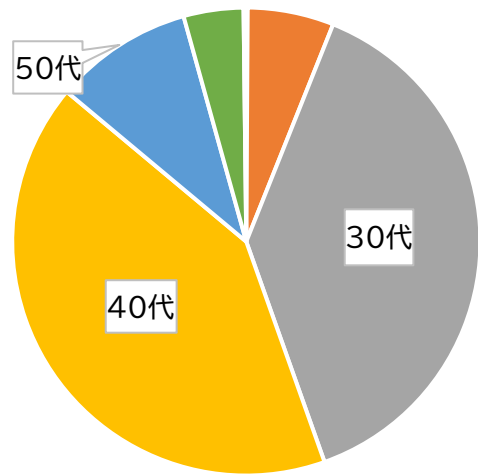
調査種別	調査対象	配付数	回答数	回答率
保護者	小中学校の保護者	1,718	693	40.3%
地域	一般町民	500	112	22.4%
	幼稚園・保育所の保護者家庭	500	236	47.2%

合計	2,718	1,041	38.3%
----	-------	-------	-------

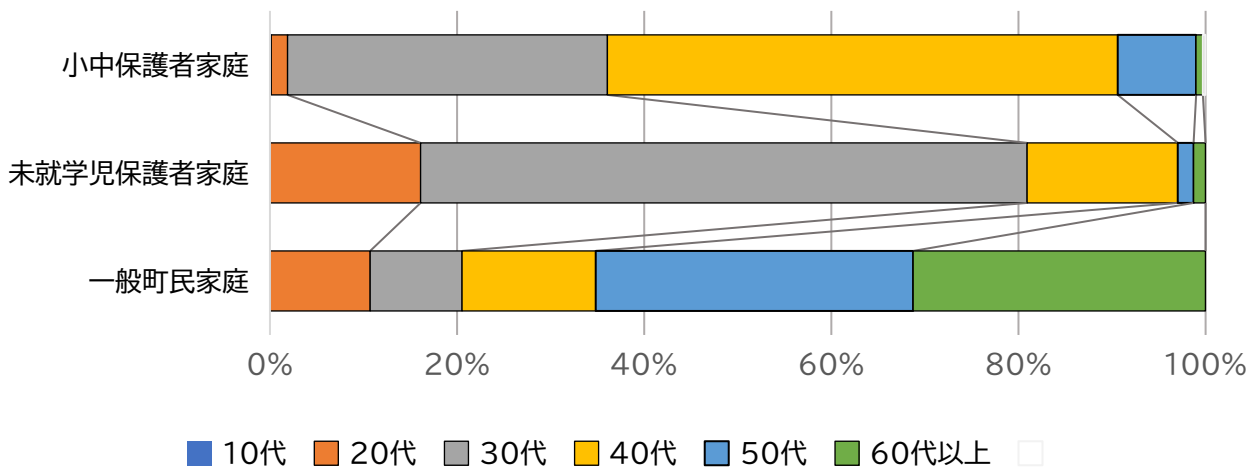
第2章 回答者属性

1. 年齢

選択肢	回答者数	割合
10代	1	0.1%
20代	62	6.0%
30代	401	38.5%
40代	432	41.5%
50代	100	9.6%
60代	43	4.1%
不明	2	0.2%



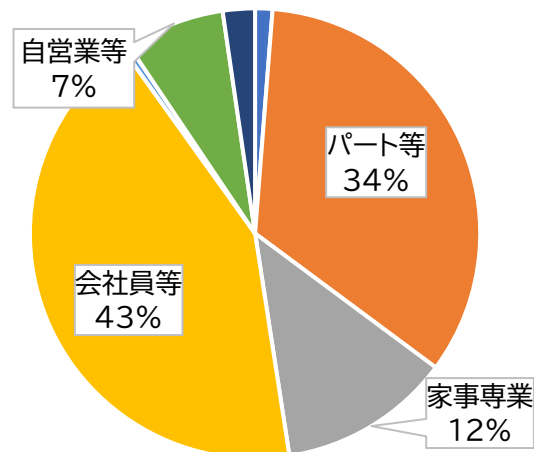
◇ 世帯別回答者年齢 ◇



対象		10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	不明
小中保護者家庭	回答数	1	12	237	378	58	5	2
	(n=693) 割合	0.1%	1.7%	34.2%	54.5%	8.4%	0.7%	0.3%
未就学児保護者家庭	回答数		38	153	38	4	3	
	(n=236) 割合		16.1%	64.8%	16.1%	1.7%	1.3%	
一般町民家庭	回答数		12	11	16	38	35	
	(n=112) 割合		10.7%	9.8%	14.3%	33.9%	31.3%	

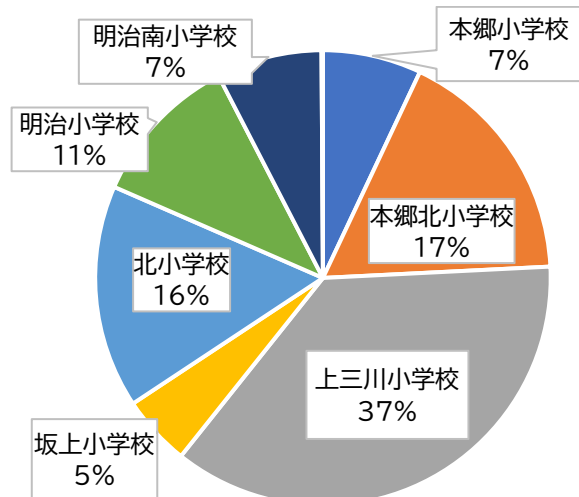
2. 職業

選択肢	回答者数	割合
自営業、事業主	74	7.1%
会社員、公務員など	443	42.6%
パート、内職、アルバイト	353	33.9%
家事専業	129	12.4%
学生	5	0.5%
無職	24	2.3%
その他	13	1.2%



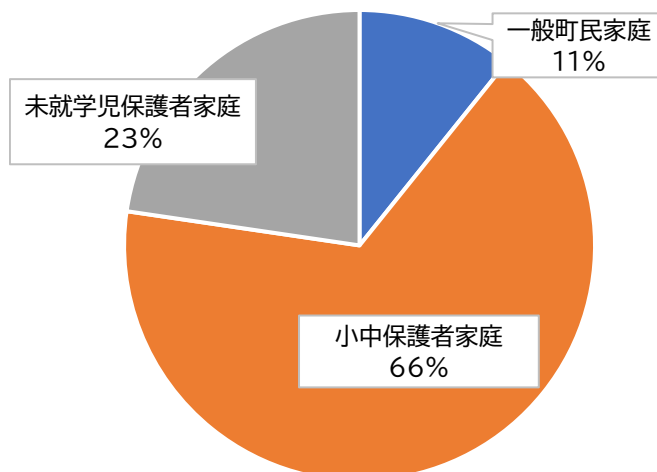
3. 居住区(小学校区)

選択肢	回答者数	割合
本郷小学校	73	7.0%
本郷北小学校	179	17.2%
上三川小学校	380	36.5%
坂上小学校	52	5.0%
北小学校	165	15.9%
明治小学校	113	10.9%
明治南小学校	78	7.5%
不明	1	0.1%



4. 同居している子供

選択肢	回答者数	割合
小中学生保護者家庭	693	66.6%
未就学児保護者家庭	236	22.7%
一般町民家庭	112	10.8%

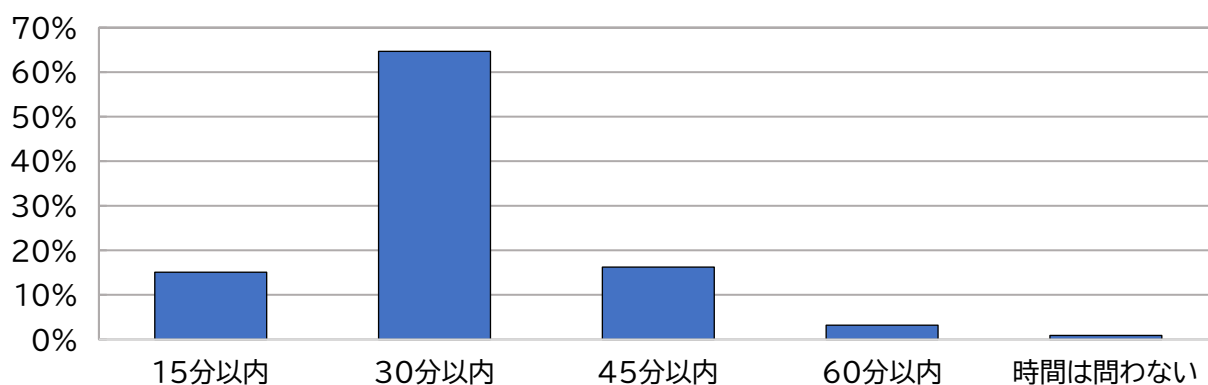


第3章 アンケートの集計結果

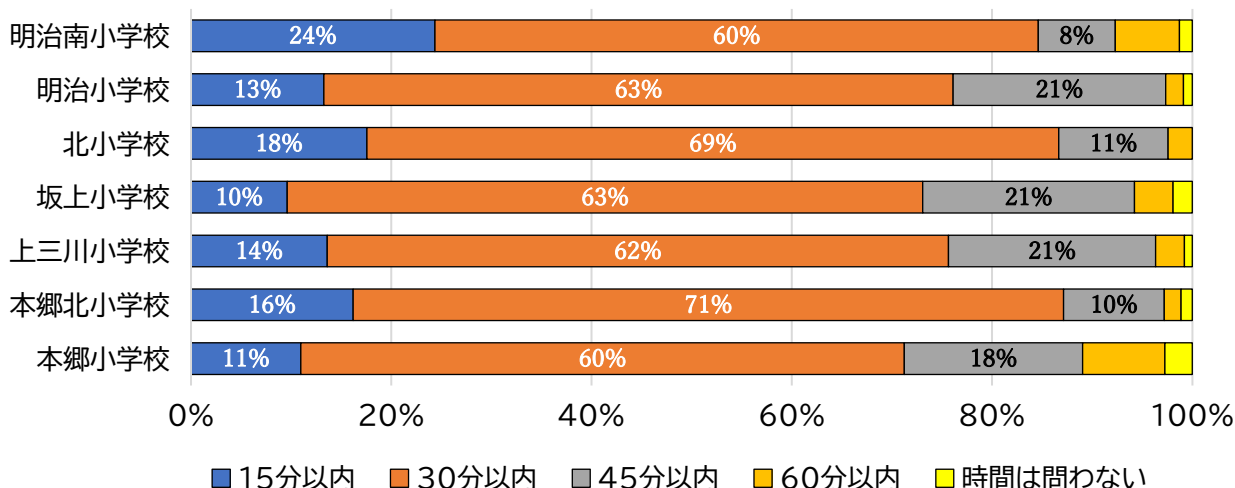
問5：小学生の望ましい徒歩通学時間(n=1041)

国は小学校までの通学時間（距離）の目安をおおむね1時間（4キロメートル）以内としています。どの程度の時間までが徒歩で通学可能な範囲と考えますか。

選択肢	回答数	割合
15分以内	157	15.1%
30分以内	673	64.6%
45分以内	169	16.2%
60分以内	33	3.2%
時間は問わない	9	0.9%



◇ 居住区別 通学時間回答 ◇

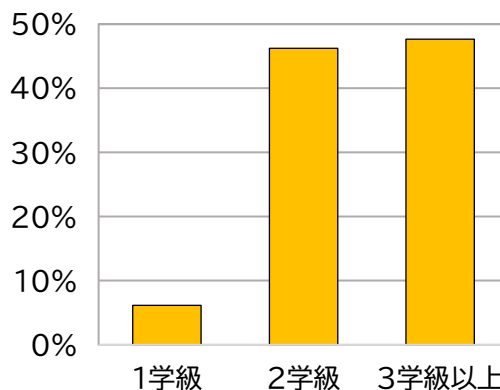


小学生の通学時間帯として「30分以内」を通学可能と回答した方が、全体の半数以上にあたる64.6%であった。「45分以内」が16.2%、「15分以内」は15.1%であった。各学区別にクロス集計したところどの学区でも「30分以内」と回答した方が6割を超える結果となった。

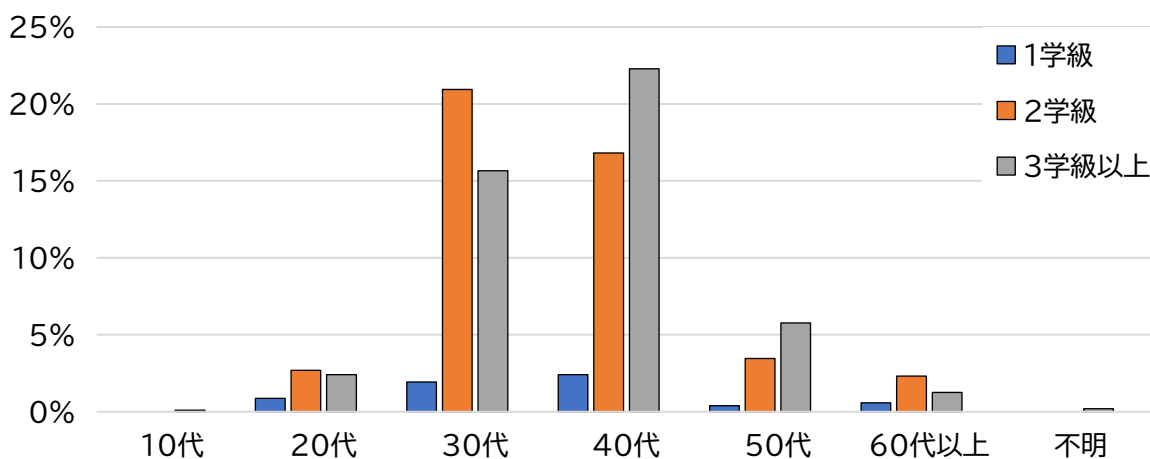
問 6： 小学校の望ましい学級数(n=1041)

国は、小学校の1つの学年は、1学年あたり2～3学級（1学校あたり12～18学級）を標準としていますが、何学級が適当だと考えますか。

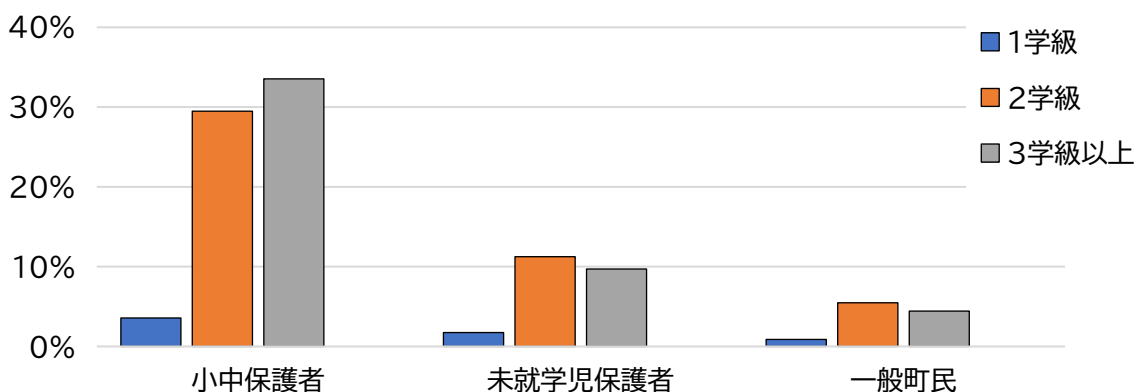
選択肢	回答数	割合
1学級	64	6.1%
2学級	481	46.2%
3学級以上	496	47.6%



◇ 年齢別 小学校学級数回答 ◇



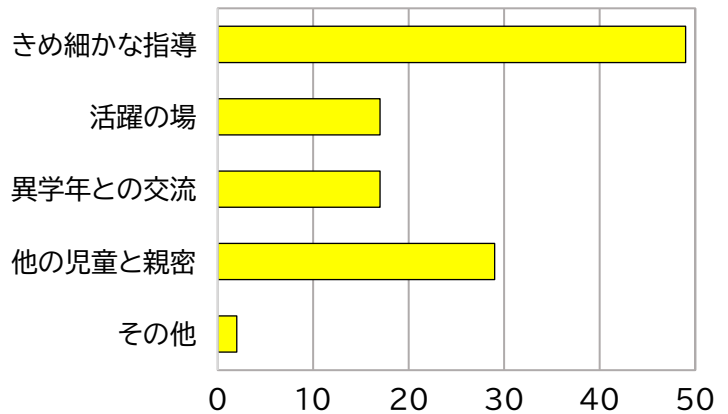
◇ 回答種別 小学校学級数回答 ◇



小学生の望ましい学級数として「3学級以上」と回答した方が47.6%、「2学級」が46.2%と複数学級を選択した割合は94%近くなった。一方「1学級」は6.1%の方が回答した。

問 6-1: 1 学年「1 学級」と答えた理由(n=64)

選択肢	回答数
きめ細かな指導	49
活躍の場	17
異学年との交流	17
他の児童と親密	29
その他	2

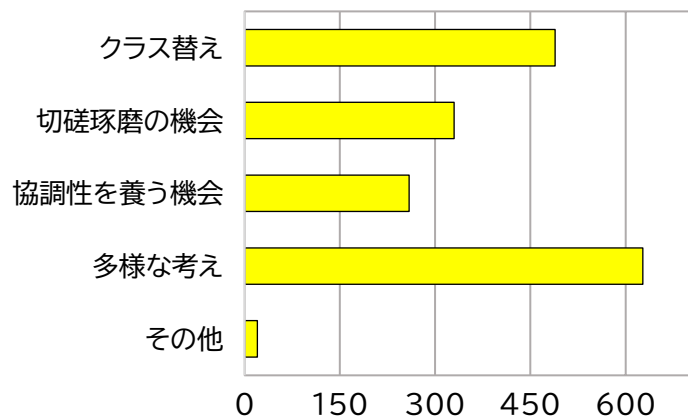


[その他の主な理由]

- ・そもそも学級に適正な数という考えがあるか分からない。
- ・自分も小学校は 1 学級だった。

問 6-2: 1 学年「2 学級」又は「3 学級以上」と答えた理由(n=973)

選択肢	回答数
クラス替え	489
切磋琢磨の機会	330
協調性を養う機会	259
多様な考え	627
その他	20



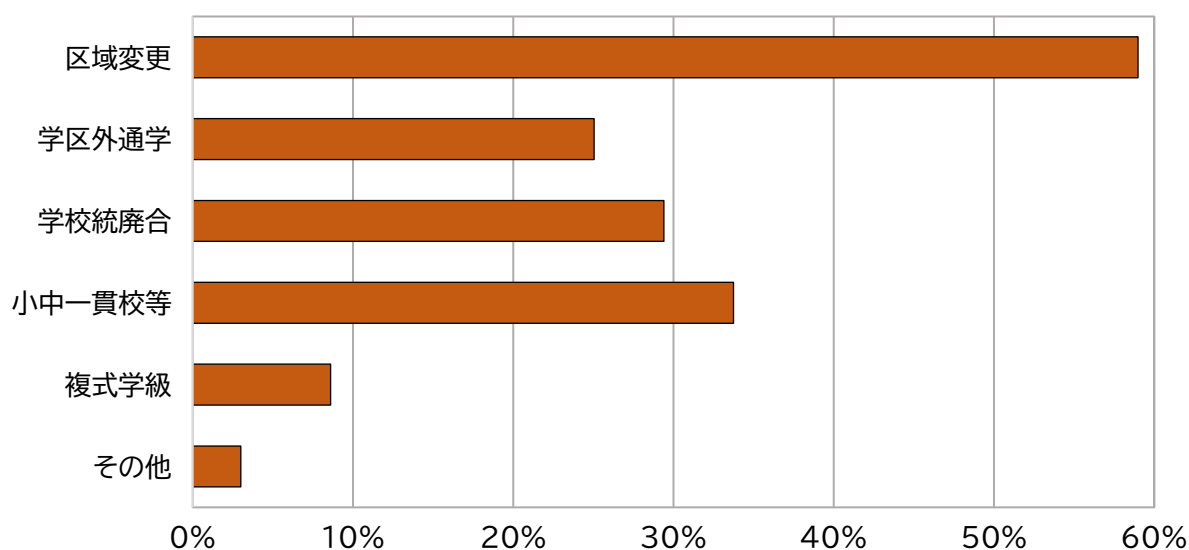
[その他の主な理由]

- ・少人数制のため先生が目が届きやすい。
- ・一クラスの人数が増えると個人に合う教育が行き届かないから。
- ・多からず少なからずが良いと思う。
- ・合わない先生や友達、いじめなどがあつた場合、クラス替えがあれば、不登校になつてもやり直せる可能性が高まるため。
- ・どうしても合わない子がいる場合離れられるから。
- ・負担の分散のため多めに選んだ。生徒数に合わせた学級編成で良いと思う。

問 7: 小学校の小規模対策(n=1034)

児童数が少ない小規模校対策として、どのような方法が考えられますか。

選択肢	回答数	割合
通学区域の変更や柔軟な運用の検討	610	59.0%
学区外からの通学者を増やす方策の検討	259	25.0%
小規模校間での学校の統廃合の検討	304	29.4%
小中一貫校の新設等、新しい学校形態の検討	349	33.8%
複式学級になっても存続	89	8.6%
その他	31	3.0%



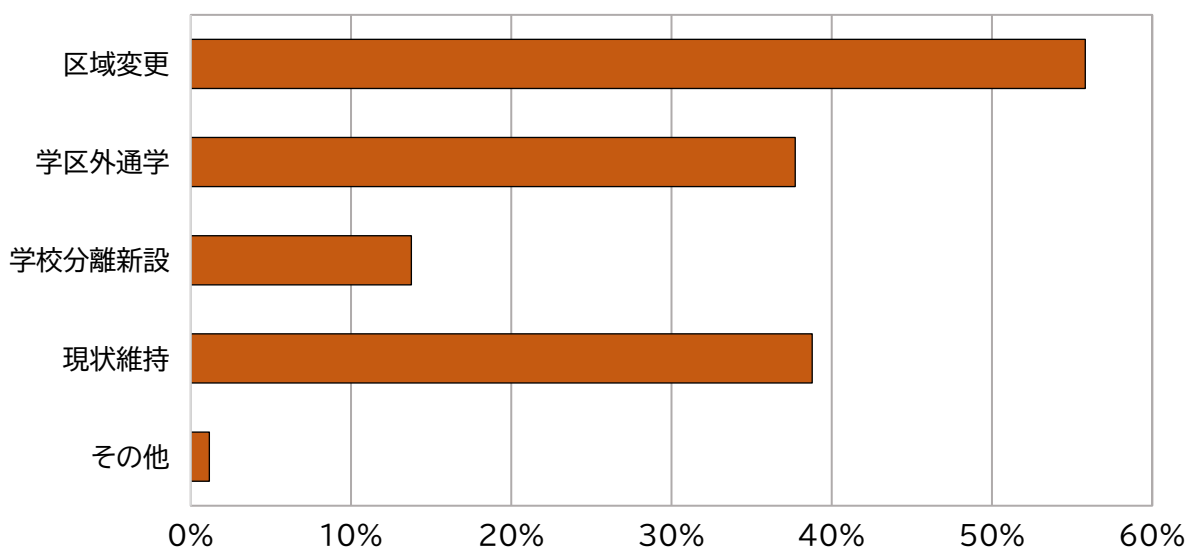
[その他の主な意見]

- ・ 35人未満でも2クラス編成にする。
- ・ 子供の数が少なくなっているので仕方がないと思う。
- ・ 学校を少なくし、幼稚園のようにそれぞれ特色があるようにして、通わせたい場所を自分たちが選択できるようにする。
- ・ 遠距離通学対策にスクールバス導入で学校統廃合も選択肢として用意してもよい。
- ・ 町内半数以上が小規模校大きな問題がなければ現状維持で他市町村圏の小規模対策成功例を取り入れる。
- ・ 小規模校を望む人もいるので、小規模で学べる場はなくさないでほしい。
- ・ 通学には危険が伴うと思うので、学校はなるべく近い方がいい。
- ・ 出産率が増えるように国や町が援助する。
- ・ 現状維持で育った環境を大切にさせる。
- ・ 地区に人を集める工夫や対策を設ける。
- ・ もっと家を建てやすい基準を立ててほしい。このままでは減る一方。新しく人が住まない限り無理。
- ・ 周辺地域の公共インフラ住宅環境の整備。
- ・ 統合ではなく、頻繁に近隣他校と交流するなど小規模校の利点も生かし課題を補う。

問 8： 小学校の大規模対策(n=1039)

児童数が多い大規模校対策として、どのような方法が考えられますか。

選択肢	回答数	割合
通学区域の変更や柔軟な運用の検討	580	55.8%
学区外へ通学できるための方策の検討	392	37.7%
学校の分離新設の検討	143	13.8%
現状のままでよい	403	38.8%
その他	12	1.2%



[その他の主な意見]

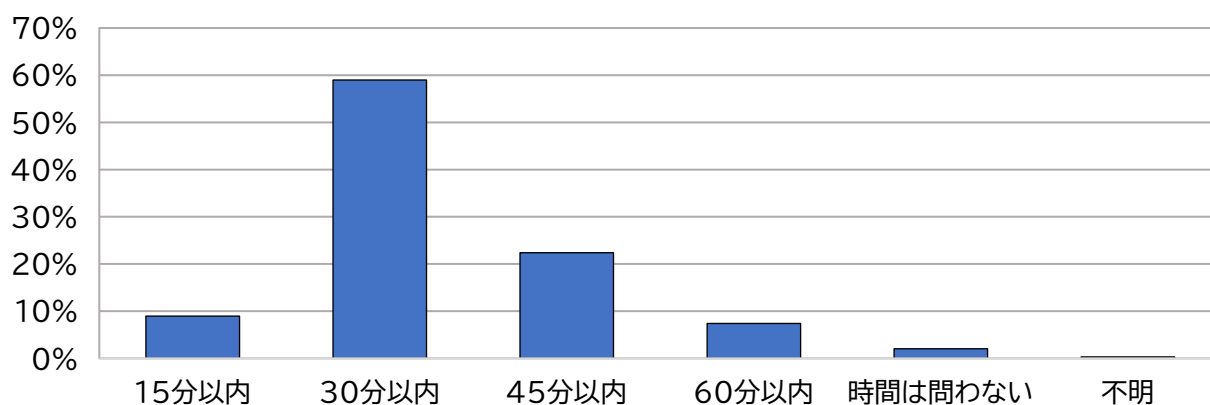
- ・現状維持、育った環境を大切に育てる。
- ・多いことが問題でなければそのまま。距離にもよるが、負担にならない程度の学区変更。
- ・何年後の将来を見据えて検討するかにもよるが、一極集中しないよう、柔軟な通学区域の設定を検討しても良いと思う。
- ・小規模校への選択制を取り入れる。
- ・大規模校入学後にも、少人数校への編入希望が容易の可能となるようにし、ガイドラインも作成して入学に配布する。
- ・スクールバスにて統廃合し通学させる。
- ・大金をかける事はないと思う。
- ・子供の学区を変えるという、子供が犠牲になるような考え方に反対です。今現在子供が少ない学区に、都市開発などを検討し、少ない地域（学区）に子供が増えるような対策を行う方が賢明ではないでしょうか。

小学校の小規模対策としては、「区域変更」が59%と一番多く、次いで「小中一貫校」、「学校統廃合検討」の順で回答数が多かった。
 また、大規模対策も「区域変更」が55.8%と小規模対策と同様に一番多かった。次いで「現状維持」「学区外通学」との回答が多かった。

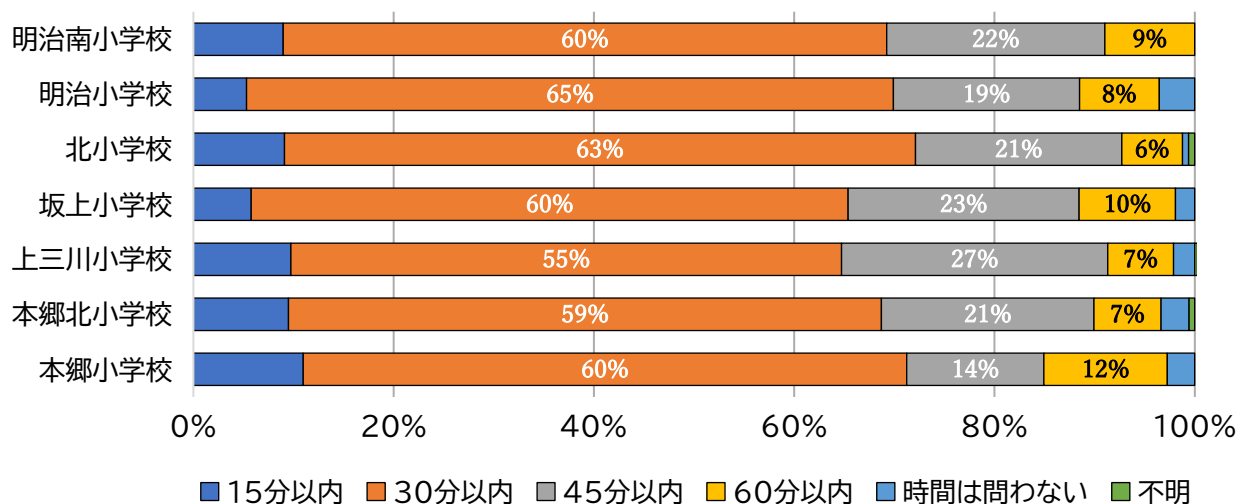
問 9： 中学生の望ましい通学時間(n=1041)

国は中学校までの通学時間（距離）の目安をおおむね1時間（6キロメートル）以内としていますが、どの程度の時間までが自転車で通学可能な範囲と考えますか。

選択肢	回答数	割合
15分以内	93	8.9%
30分以内	614	59.0%
45分以内	233	22.4%
60分以内	77	7.4%
時間は問わない	21	2.0%
不明	3	0.3%



◇ 居住区別 通学時間回答 ◇

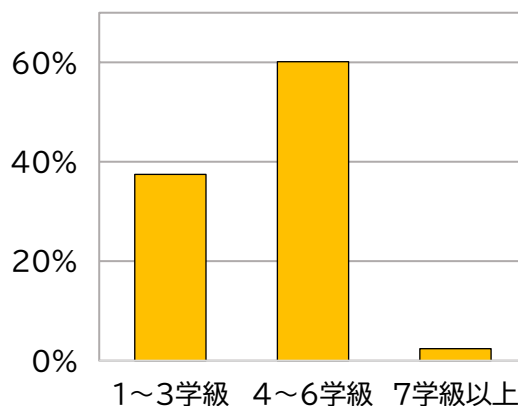


中学生の通学時間帯についても小学校と同様に「30分以内」が59%と一番多い回答となった。「45分以内」は22.4%、「15分以内」は8.9%であった。自転車での通学となることから、小学生と比較して通学時間の短い「15分以内」は少ない数値となった。

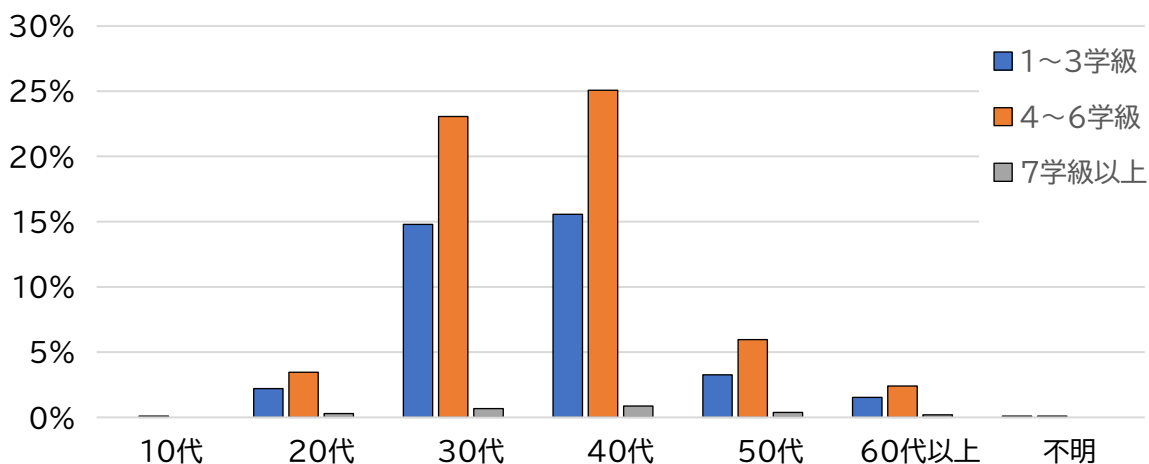
問 10： 中学校の望ましい学級数(n=1041)

国は、中学校の1つの学年は、1学年あたり4～6学級（1学校あたり12～18学級）を標準としていますが、何学級が適当だと考えますか。

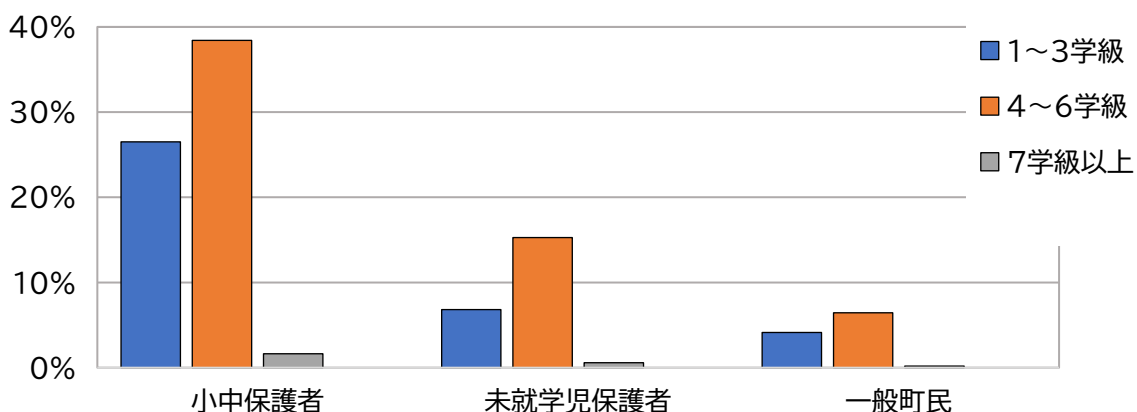
選択肢	回答数	割合
1～3学級	390	37.5%
4～6学級	626	60.1%
7学級以上	25	2.4%



◇ 年齢別 中学校学級数回答 ◇



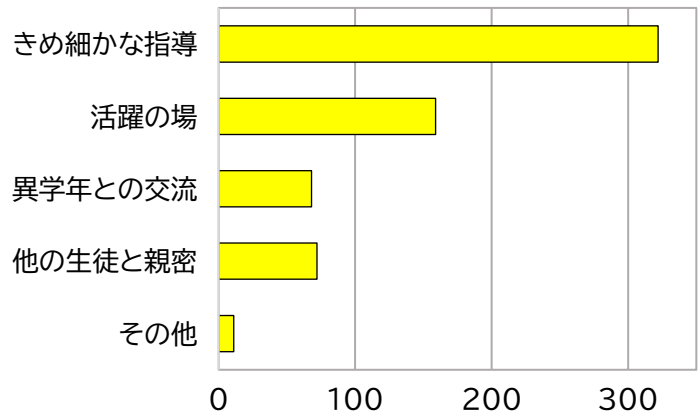
◇ 回答種別 中学校学級数回答 ◇



中学生の望ましい学級数は、「4～6学級以上」が60.1%と半数を超える回答となった。「1～3学級」は37.5%で「7学級以上」を希望する回答は少数であった。年齢別及び回答種別にクロス集計してもほぼ同様の結果となった。

問 10-1: 1 学年「1～3 学級」と答えた理由(n=389)

選択肢	回答数
きめ細かな指導	322
活躍の場	159
異学年との交流	68
他の生徒と親密	72
その他	11

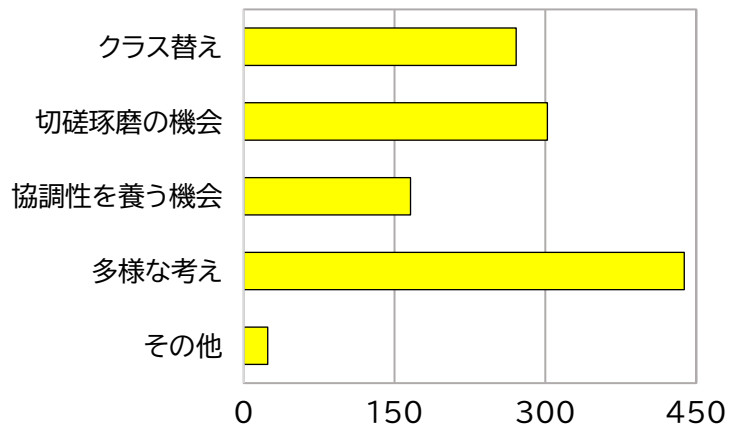


[その他の主な理由]

- ・人数が多ければ 4～7 でないと思う、最低 3 はあってほしい。クラス替えなど様々な人や先生、考えなどに触れる機会がある為。
- ・3 学級程度が理想。それでも協調性や多様性を養うことは可能だと思う。
- ・学力の大事な時期なので人間関係も大変なのできめ細かな勉学を求める。
- ・非行防止のため。
- ・いじめが発生する確率を増やさない。
- ・多くの今の子供は 1 から 3 学級を経験していると思われ、また親もそういう学級数を経ている現状から 2、3 の選択肢が考え付かなかった。

問 10-2: 1 学年「4～6 学級」又は「7 学級以上」と答えた理由(n=647)

選択肢	回答数
クラス替え	271
切磋琢磨の機会	302
協調性を養う機会	166
多様な考え	438
その他	24



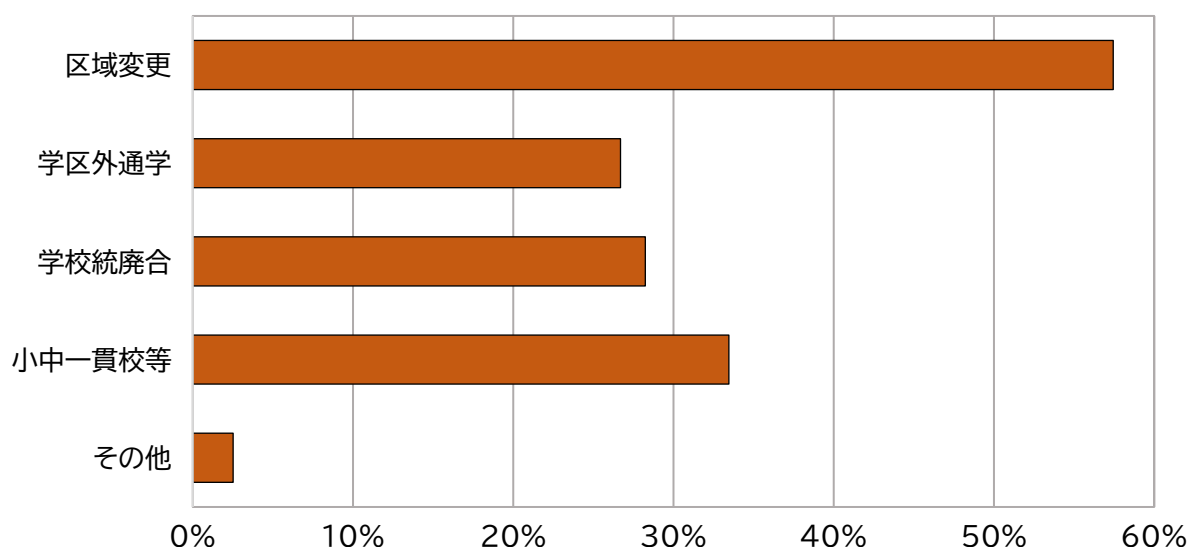
[その他の主な理由]

- ・多様性があった方が等の問題があった際に選択肢が生まれる。
- ・人数が少なければ授業の質が上がるから。
- ・少人数制にした方が、先生の負担も軽くなり、一人一人に対してもきめ細やかに目を配れるからから。
- ・教職員数が確保でき、校務分掌分担のゆとりが生まれることで、生徒に向き合う時間が確保できるため。
- ・1 クラスを少なくして、塾に行かせなくても済むようにしっかり勉強をみてほしい。
- ・体育祭、文化祭、部活動等、人数が多いことで出来ることが増える。
- ・合わない環境に長くいるリスクを減らせる。
- ・虐待やイジメがあった時逃げ場ができる。

問 11: 中学校の教科指導(n=1024)

中学校では生徒数の減少に伴い学級数が減ると、各教科を専門とする教員が不足する課題が生じます。これを解決するにはどのような方法が有効と考えられますか。

選択肢	回答数	割合
通学区域の変更や柔軟な運用の検討	594	57.4%
学区外からの通学者を増やす方策の検討	276	26.7%
学校の統廃合の検討	292	28.2%
小中一貫校の新設等、新しい学校形態の検討	346	33.5%
その他	26	2.5%



[その他の主な意見]

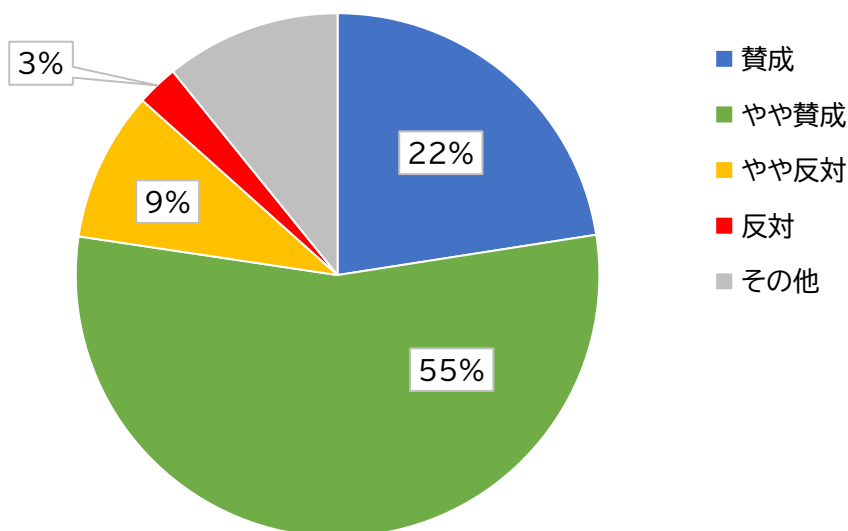
- ・現時点で不足がわかっているのであれば教員として働きたいと思えるような環境を整えるようにしたらい。(仕事内容、勤務形態の見直し)
- ・学習指導担当の非常勤教員を採用。制度を拡充すべき。
- ・各専門教科数を1→2にするなど先生側の条件を変更する。
- ・リモートも含め複数校を掛けもちで教えられる制度や他校合同授業を模索する。
- ・通学区域を考えるのであればそもそも学区内に新しい子育て世代が移住できるように宅地を増やすなど町が環境を整える努力を必要がある。
- ・生徒数に関係なく子供の学習に必要な教員数は確保できるようにしてほしい。
- ・スクールバスで遠くからでも通えるようにする。
- ・1学級数を30人以内に変更する。
- ・幼稚園のように各学校で特色を作り、子供たちに選択させて通学させる。

中学校の教科指導のできる教員確保に対し、「区域変更」での対応を望む声が57.4%で多く、「小中一貫校」・「学校統廃合検討」はほぼ同じような割合であった。小学校の小規模対策とほぼ同じような回答傾向となった。

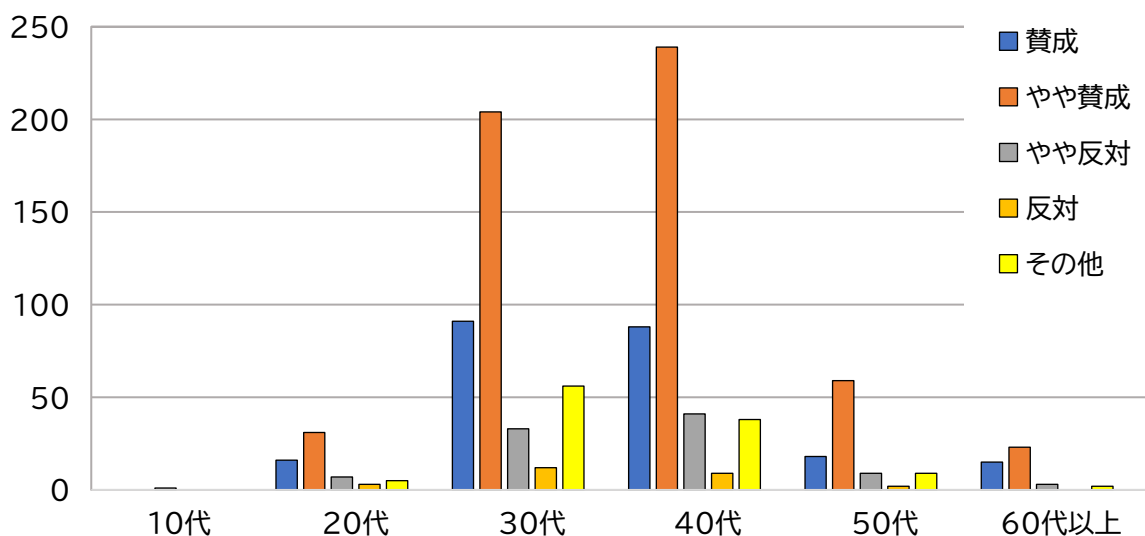
問 12: 義務教育学校について(n=1016)

栃木県内では、小山市、下野市、那須塩原市、佐野市に義務教育学校が設置されています。義務教育学校の設置についてどう考えますか。

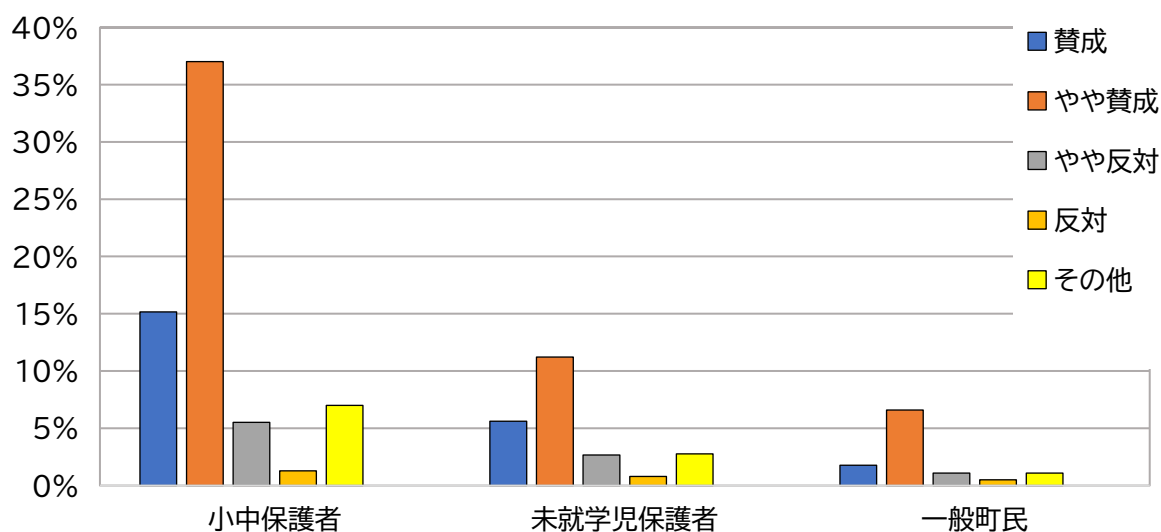
選択肢	回答数	割合
設置すべきである	229	22.5%
どちらかと言えば設置すべきである	557	54.8%
どちらかと言えば設置すべきでない	94	9.3%
設置すべきでない	26	2.6%
その他	110	10.8%



◇ 年齢別 義務教育学校回答 ◇



◇ 回答種別 義務教育学校回答 ◇



[その他の主な意見]

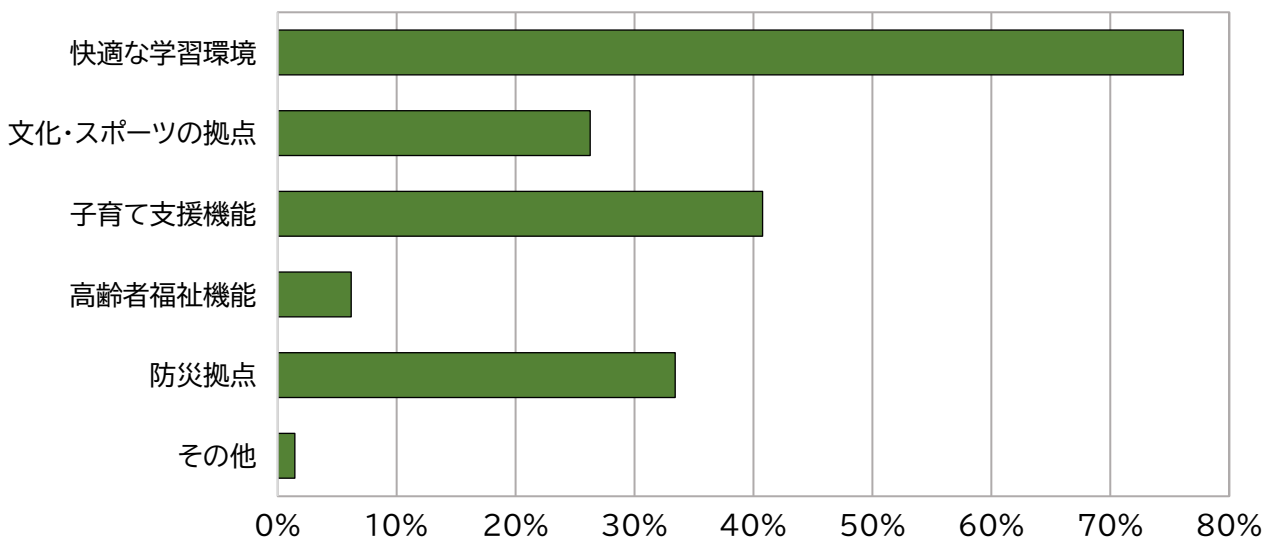
- ・明確なメリットがあれば設置されてもよいが、実際生徒にはメリットを感じない。
- ・子供の数や教育環境等を考慮して設置は検討すべきで、現在は設置の検討は必要ないと思う。
- ・設置すべきかどうかは判断しかねるが選択肢としてはあった方がよいと思う。
- ・生徒数が少なく、小中学校の統合をする場合に検討すればよいと思う
- ・新校舎建設のための予算などきちんと確保できるのであれば良いと思う。中途半端な予算で中途半端に義務教育学校を作っても施設がもったいないと感じる。
- ・社会的には仕方がないが、9年もケジメ（卒業）なく過ごすのはどうかと思う。
- ・子供が少ない地域に限定すべきであると思います。
- ・教員不足に対応するには良い方法かもしれない。
- ・一貫する利点が分からない。
- ・まだ何とも言えない。
- ・義務教育学校という言葉は初めて聞いた。よく知らないので答えられない。
- ・どちらかという中高一貫を増やした方がよいと思う。
- ・いろんな面からメリット、デメリットで、判断が難しい

義務教育学校については、「賛成」「やや賛成」を合わせると77.3%であり、多くが好意を示す結果となった。年齢別及び回答種別についても同じ回答傾向となっている。

問 13： 地域コミュニティとしての機能 (n=1035)

地域コミュニティにおいて学校にはどのような機能が必要だと考えますか。

選択肢	回答数	割合
児童生徒が快適に学習できる環境であること	788	76.1%
地域に開かれた文化・スポーツ活動の拠点であること	272	26.3%
地域の子育て支援機能との複合的な施設であること	422	40.8%
地域の高齢者福祉機能としての複合的な施設であること	346	6.2%
地域の防災拠点として安全・安心な施設であること	64	33.4%
その他	15	1.4%



[その他の主な意見]

- ・幅広い年代の地域の方々との交流の場とし、様々な価値観や文化、多様性の理解を育む施設であること。
- ・人間関係を学ぶ。
- ・自治会とのつながりは減少してほしい。
- ・郷土精神を育む場として極めて重要な役割がある。
- ・教育機関として特化すべき。
- ・学校行事に地域住民が積極的に参画できる場所であること。

地域コミュニティとしての機能として「快適な学習環境」が76.1%と大半を占めており、児童生徒が充実した学習のできる環境の構築を期待している回答が多かった。2番目に「子育て支援機能」が40.8%、次いで「防災拠点」が33.4%となっていて、複合的な施設の充実を求める声も比較的多かった。

第4章 自由意見

教育委員会では、少子化による児童生徒数の減少や、学校施設の老朽化に対応した、よりよい教育環境の整備を図るため「学校の適正規模・適正配置」に向けた基本方針の検討を予定しています。子どもの教育活動や通学などの視点から配慮することは何だと思えますか。以下の欄に自由にご記入ください。

- ・ 都会の方がなんでも特化しているように思うので、通わせたいと思う対策が必要。
- ・ 先生が足りないなら、配信で授業をやればいい、後は教室に事務員でも雇って、見てもらえばいい
- ・ 安心して学生生活が送れること
- ・ 昔よりも送り迎えが、当たり前になっているので、そのような視点で学校整備、道路整備もしてほしい。
- ・ 保護者の意見を重視する
- ・ 小学校でも学力に応じたクラス編成
- ・ 上三川町は、上三川小学校と上三川中学校に人数が集中している為、他の小学校と中学校が極端に少ないのでスクールバスなどを出して他の小学校中学校を纏めるべき。
- ・ 安心、安全であること
- ・ スクールバスを運用し、遠方からも通学ができるようにする。大規模学校から小規模学校への分散を勧め、できるだけ適正規模で運用していく。
- ・ 遊具、机、イスなどの安全面（しっかり点検して危ないものは新しくしてほしい）
- ・ 安全かつ安心して、学ぶことが出来る場所が学校である為、地域への配慮も必要
- ・ スクールバスの活用
- ・ 先生の数がもう少し増えるといいと思います。また、地域との交流を盛んにすることにより、学校自体を活性化出来たらいいなと思います。でも今現在、十分に地域の方々が色々な場面で参加や協力してくれているとも感じます。これ以上となると、なかなかいい案が浮かびませんが、今やっていることの継続と、更に深めることで、更に良くなるのかなと思います。
- ・ 子供達にとってあまり負担にならない距離に小中学校があるといいと思います。どの通学路も安全であってほしいです。
- ・ 通学時の荷物の重さが大変！教科書等なるべく持ち帰らずに済むようにして欲しい。宿題はプリント等で充分。
- ・ 学区外からも生徒を受け入れる柔軟な考え方が必要です。
- ・ 学校は通うのが基本。通えるように配慮をすべき。個人主義にならないよう教師の数を増やし、男女比率の偏りがないようにすべき。
- ・ 住みやすく、子育てしやすい環境作りが必要だと思えます。
- ・ 全ての児童生徒にとって、環境や教育に格差がないよう配慮すべき
- ・ 子どもにとって、魅力的な学校にする
- ・ スクールバスの運用
- ・ 人数が溢れるのであれば、学区域を広げた方がいいとおもう。
- ・ 新しく学校が出きるなら、スクールバス通学が望ましい
- ・ 子供達もある程度理解していると思う。必要以上に騒がなくても理解していると思います。

- ・制服や体操着の値段が高い。リサイクルの為にも安くお下がりを買える場所を設けて欲しいです。
- ・親がいない所で実は先生方が陰険な事をしている。教育方針云云以前に先生方の生徒に対しての言動を改善すべき。自覚していない先生方は問題外。
- ・地域交流と教育環境の充実
- ・家庭学習に重点を置くのではなく、まず、基本の学校での指導をより充実して欲しい。苦手科目がある子に対しての対応など、一回で終わりにするのではなく何度も反復練習、学習を積み重ねて欲しい。本郷小学校のヘルメット登校はどうにかならないのか。
- ・少子化の問題だけでなく家庭環境も様々ですから、どんなお子さんも平等に教育が受けられるよう柔軟に対応していただけたら良いと思います。またその情報をできる限り公表して共有できると良い。
- ・安全性
- ・通学経路の整備は必要と感じます。子どもたちが通う上で、車通りが多いところや道が狭く危ないところがあります。学区内外どちらも先ずは子どもたちが安全に通うことができるのが一番だと考えます。悲惨な事故が起こって行動するのでは遅いです。早め早めに道の整備等してほしいなと思います。
- ・通学時間が30分以上や下校が最初や途中から1人になってしまう子供達の為に誘拐や変質者対策として、有料でもいいのでバスがあると安心できます。授業に関しては、高学年になると理解度に差が出てきて、その差を埋める為にも単元毎に理解度にクラスを分けしっかり理解させてから次の単元に進めてほしいです。
- ・特にない
- ・通学時間が長くなる生徒への通学バスの運行
- ・人数が少ないことで、部活動や行事が制限されること(選択肢が少ない、行事の小規模化)がないことが望ましい。また通学において、冬季の日没後長時間をかけて1人で帰宅するような危険な事は避けるべきである。
- ・老朽化した校舎などの施設は整備する。通学の観点からするとスクールバスの利用の検討も必要だと考える。
- ・現在の児童生徒の友達関係や部活動などの学校での活動を維持できるよう配慮してほしいと思う。
- ・将来につながるような学習をして欲しい。どんな子供にも同じように学べる機会があり、そしてそれぞれに合った学びの場があるといいと思う。
- ・学校の多様化も時代と共に変わっていくと思うのですが、登下校も様々で、車で送迎する保護者や、下校時に放課後等デイサービスのバスや、幼稚園等の預かり保育での送迎バス等がある中、車を停める場所が無く困ってしまったり車のわだちで凹んでしまったグラウンドを、子供達や先生方が整備しているのが現状です、もし見直す機会があるのでしたら一度考えて頂けたらと思います。
- ・児童生徒数の減少から1学級の定員しぼりで学級数が少なくなり1学級の人数が増えて窮屈になっている現状です。人数しぼりを緩和することを検討していただけないでしょうか？
- ・通学路の安全管理、保護者やボランティアの方たちの見守り、事件事故から子供達を守ることに力を入れて欲しい。ランドセル廃止、自由で良いと思う。
- ・難しいことはわかりませんが、教員の負担軽減、不審者対策の継続、交通安全活動、いじめ防止対策、現代の子供達が安心して学校生活を送れたらと思います。

- ・子ども 20 名定員で 2 クラス設定はいかがでしょうか？先生 1 人がきめ細かく見れる人数を変える。今は 35 人超えると 2 クラスになると思いますが、35 人を 1 人の先生が見るのは親としては不安になります。
- ・子供が安心して、毎日楽しく学校生活を送れるようにすること。
- ・安心。
- ・雨の日の送迎が大変なのでスクールバスがあると助かります。
- ・教員の負担軽減措置
- ・安全に通えるように距離が遠い場合はスクールバスにしてほしいです
- ・他にも増えている小中一貫校などにして、バスでの送迎に登下校をする
- ・教職員の質をあげていただきたいです。不登校やトランスジェンダー、LGBTQ、ヤングケアラーなどの知識が乏しい教職員の方が多いなあと危機感を感じています。多様性と言われている今の時代に大人の価値観の偏りを感じ、またその価値観を押し付けるような軍隊のような学校生活に子どもたちが疲れています。もっと今の子どもたちが抱えていることから目をそむけないでいただきたいです。本当の意味の多様性を教職員の方々には学んでいただきたいです。通学については暑い季節には制服でなく体操着での通学の許可や寒い季節の防寒対策の柔軟さなど、通学する子どもたちの立場に立って考えていただきたいです。
- ・学校の統廃合がある場合にはスクールバスが必ず必要。統廃合せず現実のまま存続させるなら必要に応じて校舎のリフォーム工事を行うべき。また、学校間の交流があると良いのではないか。
- ・学区撤廃
- ・学校が廃校になり、通える学校が遠くなるようであれば、送りやスクールバスなどを検討してもいいのではないのでしょうか？
- ・過去に刃物を持った不審者が上三川北小学校付近を歩いていた所を逮捕されました。北小学校では下校時間だった為 安全の為 全校生徒を下校させず待機でしたが、上三川小学校の子供達は通常通り下校してきました。北小学校の近くに住んでいる為、あと 100m という所で不審者は逮捕されましたが 上三川小学校の対応は何もありませんでした。通学中のトラブル、不審者対策などから登下校時の携帯所持を可能にして欲しい。
- ・変化に対応するためのサポート
- ・あまり少ない学校は吸収されてやむを得ないと思います。あまり登校に時間がかかるようなら、徒歩以外の選択肢を与えるべきだと思います。
- ・いろいろなことを学べる環境、安全な通学路
- ・安全
- ・生徒が安全に通学できるよう信号機の増設、交通ルール、マナー教育を充実させる事。このテーマとは直接関係しないが PTA の存在による父兄の負荷が大きすぎる為、PTA を廃止すべきだと思う
- ・数年後に就学する子の親の立場として、通学中の安全確保と災害時の安全確保が最も気がかりです。義務教育学校の制度にも関心があり、本郷地区や明治地区に設置するのも良いかと思っています。昔はあっちが分校だったのに、今や本校より人数が多いというような事を高齢の方は言うかもしれませんが、そんな事を聞いていると財政的にも設備的にも教育水準の低下が避けられません。教職員の皆様の御負担が少しでも軽減出来るような仕組みで再構築を目指していただきたいと思っています。
- ・様々な人たちとの交流が出来るよう、それなりの人数が必要だと思う。

- ・学校の統廃合や、通学時の安全確保(スクールバスの導入など)
- ・一緒に過ごしている仲間を無理に離さない(分校など)
- ・安全な学校生活
- ・安心安全
- ・子供にストレスを与えない事を最優先に配慮する事
- ・上三川町から中高一貫に通学している生徒にも補助金を適用してほしい。上三川町内の中学校に通学者のみ適用のため。
- ・1学級の人数変更。教室が狭い現状を改善する。
- ・学区を広げたりするべき。今の学区内だと住む場所に限りがある。
- ・1クラス35人を基準とするのではなく、もう少し臨機応変に対応してほしい。35人ギリギリで1クラスになってしまった場合、特に中学生は教室が狭く荷物も置けないなど、不都合な部分が多い。教室の広さに対しての人数の配置のバランスがとれていない。
- ・そもそも子供を産むのに費用がかかる事がどうかと思う。出産費は無料にすべき。
- ・土曜日学校、小学校では4クラス、中学校では8クラスあった時代に育った親から見ると、少子化だからという面では、正直よく分かりません。比較的人数の多い小学校に子供が行っているの、このアンケートの回答の仕方でも悩むところがあります。アンケート回答の中にあつた選択にもありましたが、少ないから学校統廃合や小中一貫などにすると場所によってはもっと遠くなってしまふ子供たちも増えてしまふ賛否あると思います。新年度に変わつたりする教員移動を特に中学校は減らして、問題ない限りなるべく同じ先生がいた方が思春期の子供は安心なのかな?とは思ひます。回答になつていなくつたらすいません。
- ・こどもの為の学校運営を行うこと、現在は近隣や保護者からの目を意識し過ぎている。こどもにとっての最善を尽くすのが学校であるべきと思う。社会はコロナ前に戻ろうとしているのに、批判を恐れて現状維持でいることは、子供たちのためにならず、適切な教育ではない。
- ・学校の統廃合により通学時間が長くなる生徒児童に対する、交通手段の確保(保護者の送り迎えを前提としないこと)
- ・通学路における整備をお願いしたい。ガードレールや街灯の設置や歩道の確保
- ・昔ながらのあり方をやめ、子供の生きやすさ、自由を尊重すべき。
- ・通学の際にスクールバスの利用を検討する。
- ・安全が最優先となります。校内、通学路、事故の無いよう最大限の配慮をお願いしたいです。
- ・子供たちだけでも休日利用できる施設、髪型、服装などの自由度。ダメと言える先生
- ・学校が遠くなつたとしても、通学にかかる時間がかかり過ぎないように配慮してほしい。現在、7:20頃に出発しているの、その時間より大幅に早くなるのは、睡眠時間が短くなるので、考えものである。通学バス等の用意も必要。何か合つた場合や、行事等に保護者が歩いて行けない距離になるならば、駐車場の完備もほしい。
- ・その土地に住む人が、通う子どもが実際にどう思っているかが大切だとおもうので、保護者だけでなく子どもの声も積極的に聞いた方がよいとおもう
- ・地域との関わり
- ・小中学校で統一して大規模な施設を作れば偏つた少子化がなくなり学校運営も楽になると思う。
- ・外が暗くなり自転車で帰るのは心配なので、スクールバスなどあつてもいいと思ひます。
- ・やるなら早くやつて欲しい。アンケートに回答しても、実際に整備が完了するのが卒業後では意味がない。

- ・近年の車の事故や誘拐などのリスクを考えると、通学時間が長すぎるのはリスクが高まるだけだと思う。また、夏の登校・下校も熱中症の心配などもある為、スクールバスなども検討してもらいたいと保護者からの声も聞いた事があり、その通りだと思った。
- ・安全に通学出来る通学路の整備
- ・まず子供達にアンケートをするべきでありその後よく検討すべき事案である。
- ・統廃合するのなら、無理に徒歩通学させずにスクールバスの導入など安全に登下校できるようにする。
- ・遠方からでも安全な通学方法の検討
- ・子どもファースト
- ・子供の安全第一が条件
- ・地域も含め子どもたちの安全、安心環境であって欲しいと思います。
- ・通学路の安全性の確認
- ・子供達の心が以前よりも不安定な気がします。精神的な教育、他人を大切にする教育などにも力を入れて欲しい。
- ・学童保育の充実や送迎バスなどがあると安心出来ると思う。
- ・上三川町内は夜間になると暗く遠距離で登下校させるのは非常に危険だと思います。通学路にしても十分な幅の自転車道、歩道が確保されておらず交通量の多い道路もあり非常に危険。統合を考える前に遠距離登校になるかもしれない児童生徒に対して通学路や通学手段(スクールバスなど)が整備されてから話を進めて欲しいと思います。
- ・歩行者を守るための安全な歩道
- ・全学年通してある程度の距離を歩ける程度の通学区域であることが理想だが、昨今の気温上昇や荷物量増加に伴う身体的負担も問題になっており、徒歩圏内にこだわるよりも、地域ごとにバス停を設置しスクールバスなどの常時運用も提案したい。子どもに配慮すべきは、教育環境の平等を保つことと考える。小規模校の統廃合を前向きに検討し、学校は適正規模適正配置で、様々な人、考え方や機会に出会える場であることを願う。
- ・通学ルート全てに安全な歩道や街灯を設ける
- ・学区境に住む子どもには、通いやすい通学路に配慮し学区の選択肢を持たせる。スクールバスを検討する。
- ・変更した後、子供にさらなる実質的な負担が生じないようにしていただきたいと思います。
- ・安心、安全な教育環境
- ・バス通学
- ・全体的に通学路が狭い。危険な箇所が多い。伸び伸びと登下校出来ない。それと保護者のアクセスもしにくい。
- ・こども一人ひとり誰も置き去りにしない教育を前提に物事を検討ください。
- ・地域との連携
- ・通学バスなどを使い、安全に登下校できるようにし、ある程度の人数が集まる小中学まで一貫して教育できる環境を整える。それによる、図書室や自習室、部活動など子供たちが勉強と共に心と知識を十分に成長させられる場所にしていただきたい。を
- ・通学に1時間かかる校区もあると聞いた。その場合、統廃合の上、スクールバス導入等であっても良いと思う。
- ・通学バスを運行させる。街の巡回バスとしても利用出来るといい。
- ・学校の先生に全てを任せるのではなく、外部の専門性のある塾やスポーツ教室などと連携し

て、学校で不足している部分を補う。

- ・少子化により統廃合や義務教育学校化などの検討が必要になると思うが、通学距離が長い児童生徒への配慮が必要と思う。スクールバスなどの設置等。
- ・勉強に運動に積極的に取り組む事ができ、安全に通学できる事が重要であると思います。
- ・登下校の安全、歩道の確保。統廃合。スクールバス
- ・クラスは多い方が良い。
- ・通学に時間がかかると時間がもったいないと思う。その時間で学習や遊びができる。長くなることで事件や事後に巻き込まれる可能性を増えると考えます。通学時間はよく多方面からみて考えるべきだと思います。
- ・各家庭の教育方針、子どものキャラクターがあると思うので、大規模校、小規模校のそれぞれの特色を、児童や保護者が理解して、今よりも柔軟に選択できると良いと思う。
- ・小学校は、小規模特認校のような特長のある学校があれば通わせたい。そうでなければ、1学年3クラスぐらいの規模で、切磋琢磨しながら学校生活を送ってほしい。徒歩での通学が難しい距離であれば、スクールバスなど利用して、安全に考慮し通学させたい。
- ・朝の通勤時間帯の車のスピードが速く、横断歩道を止まらないなど、危険な面があるので、掲示、呼びかけをもっとして欲しいです。
- ・親が車で送り迎えをすることを視野に入れた学校づくりをして遠方からも通いやすくして、学校の統合を進めるのが良いと思う。1学級
- ・明治小学校は人数が少なすぎます。学区内にアパートもなく、ゆうきが丘は高齢化しています。スクールバスを利用してでも合併させて、学力向上の為に児童数を増やして欲しい。
- ・上三川小だけマンモス校になっていて、学校行事など縮小されているのは納得できない。全部の学校を集めて一個にまとめた方が良いと思う。スクールバスを使う様用にしたい方が良い
- ・難しいかもしれないが、1つの学校にして遠い場合はスクールバスを使い、同年代が同じスピードで勉強できるとよい。あまりに多い学校と少ない学校の勉強のリズムが違いすぎる。
- ・ボランティアの方々が見守って頂いているので、安心です
- ・途中から統廃合し、環境の変化を与えられた子供達へのストレスが懸念される。いじめの多発、自殺者の発生、様々な問題もあると思います。統廃合するにあたり、学習面への配慮などは検討されているかもしれませんが、いじめの問題には触れていないと思いました。必ずいじめは、おこると思います。組織としてはなんでもないことではと思いますが、一個人としてはいじめが最も大きな問題であります。
- ・小規模、大規模な学校の違いで授業参観の回数や、運動会の内容が手厚い、手薄いとの違いがないようにしてもらいたい。生徒数を考慮して教員の増員も考慮してほしい。また、コロナが落ち着いてきた今、また前の様な形式に近づけるように、大規模な学校も運動会の内容ももう少し見当して欲しい限りです。
- ・有名な塾などを参考に適正規模、適正配置を検討すべき。
- ・通学距離が遠くなる場合スクールバスがあったらよいのでは。
- ・遠距離になる場合などはバスを出すなど、少子化の今に合わせて、子供がきちんと通え、学習できる体制を検討してもらいたい
- ・教育活動の充実を求めたい。部活の顧問は教員の負担が大きいため、外部講師に依頼したほうが良いです
- ・安全、安心に通えるようにすること
- ・学区を広げるための、安全な低額公共交通機関

- ・ 1クラスの人数は30人くらいで良いのではないかと思います。
- ・ 登下校時の安全。人数が少ないと登下校時に一人になる時間が増える。
- ・ 個人を尊重すること
- ・ 遠くや、交通量の多い通学路は送迎バスがあると良い。そうすれば遠くの学校を選択する事ができると思います。
- ・ 老朽化した学校を生徒たちと学習の意味を込めてリフォーム
- ・ 安全、安心な学習環境、通学路の確保。教員の負担軽減かつ安全確保のために外部による安全点検に
- ・ 義務教育学校にはあまり賛成していませんが、スクールバスを使用し1箇所の新しい施設に統合するのは良いと思います。
- ・ 35人1クラスの場合、人数が多いので、2クラスに分けて欲しい。(発達障害と診断された子が何人いるかで分けて欲しい。)
- ・ 自動運転バスなど、単発ではない将来に繋がる交通機関の整備
- ・ 歩道や自転車通路の整備
- ・ 先生方の目が届きやすい規模の人数を1クラスの人数にする。
- ・ 統廃合や義務教育校の新設、地域に子供を呼び込める特任校の新設
- ・ 学校規模が大規模になることで先生の仕事が増え、結果的に子供の教育活動の質の低下が懸念されます。
- ・ 通学路の整備、バスなどの検討
- ・ 子供が安全に通える環境を整えるのが一番大切かと思っています。
- ・ 通学に負担がかからないようにすること
- ・ これから子供の人数が増える事は難しいので、あまりにも人数の少ない学校であれば近隣の学校と統合した方が、人との出会いが生まれ、視野が広がるのではないかと。また、統合にあたって通学が難しい場合が必ず発生するので、スクールバスなども検討してほしい。
- ・ 通学時の安全なルートの確保。地域社会との交流の場。
- ・ コロナ禍やスマホ等の普及により人付き合いが煩わしい希薄さを感じます。人は一人では生きていけないと思います。子どもには心の安心できる幼馴染を作してほしい。保護者や子ども同士が集える場を設けてほしいと思います。
- ・ 統廃合するのであれば、小学生にはバス通学。共働き世帯がほとんどになると思いますので、登下校に付き添うことは難しいと思います。
- ・ 安全に通学できること。
- ・ 多くの児童生徒が登校できる位置に学校を設置すること
- ・ 子どものみでも安心して安全に通学できる距離、環境にあること。
- ・ 児童生徒の通学距離や時間、安全性を重視し、全ての児童生徒が平等である事が必要かと思っています。
- ・ 子供たちの送迎バス等を検討してほしい。悪天候、防犯の観点からも安心安全出来る内容であることを期待します。
- ・ 通学可能圏内で親の負担なく自身で通える事。
- ・ 目的と手段を混同しない方針を策定してください。
- ・ 同じ町内でも学校によって生徒数の差が激しい。原因は住宅地化している地域と農地のため宅地化できず家を建てられないなどがあると思います。もっと宅地転用を認めて住宅街を生徒数の少ない地域の学校でも増やすようにすれば子供の人数の差がなくなると思いま

す。実際に町外から引っ越してきた方の話を聞くと子供が多すぎる学校よりも子供が少ない学校に通わせたいという親が多いです

- ・通学路などの安全確保
- ・学区の適正化。生徒数が一部の学校へ集中していると感じる。また、通学距離を見ても不利になる地域があると考える。
- ・教員数の増加、確保
- ・少子化は進行することを踏まえると、統廃合はやむを得ないと思われる。
- ・学区縛らずスクールバスなどを使って柔軟性を図る
- ・送迎バスサービス
- ・自治会があることで、いろいろと学校のことを妨げていると思います。
- ・小学校統合なのか、小中一貫なのかで通学面での意見も変わってきます。具体的な検討案があつての事ならば、それに対しての意見を出せると思いますが、現段階では、なんとも分かりません。
- ・実際、現在自分の県外の母校中学校は廃校となり、同じく廃校となった隣の小学校に新しく統合した中学校をつくりました。母校としてはとても寂しいものです。今の子どもにとってもそういった状況になりそうな時、同じ気持ちだと思います。不安、寂しさ、新しい環境への戸惑い、そのあたりをどのようにケアしていくのか、とても重要だと思います。できれば中学校は心の変化がある時期なので、途中で統合したり変わったりというのは正直望みません。子ども達がクラスに馴染んでいるか、嫌かによりますが…。かなり慎重に行わないとだと思います。
- ・一番配慮することは、子供の気持ちだと思います。子供にも簡単なアンケートをするといいかと思っています。
- ・児童生徒が安全に、安心して通える学校。地域ごとの特色ある伝統を受け継いでいけるよう地域に開かれた学校づくり。
- ・雨の日など学校に子供を送っていく時間をもっと早い時間にして頂けると無理に歩かせなくすみ、ゆとりを持って送れます。小学生も制服や体操着で活動出来ると色々な面で助かります。一年生と二年生のみヘルメット通学ではなく帽子が良いと思います。他の小学校でヘルメット通学しているのを見たことがありません。ただでさえ小さい身体で重い荷物を持っているのにヘルメットは見ていてかわいそうです。安全かもしれませんが過剰かと思っています。
- ・重い荷物を持つての通学は負担がかかるので、距離は配慮してほしい。やむを得ず統廃合で遠くなる場合はスクールバスを確保すべき。児童数の少ない地域は、1学級の人数を見直し、少人数学級で子の特性や多様性に応じた手厚い教育を配慮してほしい。放課後学童保育の充実も併せて配慮してほしい。
- ・子供達が安心して過ごせる環境
- ・スクールバスを出すなどして、学区の見直しをすべきである。
- ・現在通学に15分程度かかっています。日々の荷物は大人が持ってもかなり重く、帰りの時間は暑い時間帯で汗びっしょりになって帰って来ます。昔と違って温暖化で子供の通学は大変なものになっていると思います。スクールバスの導入も必要だと思います。
- ・1クラス35人では教室が狭いです。クラス人数を減らし、ゆとりある環境で教育を受けさせたいです。
- ・子供が安心して、安全に通える学校。保護者を含め、個々の違いを認め合い、分かり合える環境づくり。

- ・登校が負担にならないよう配慮した方がよい。小学生で徒歩 45 分以上の通学距離は、遠いように思います。
- ・通学路の安全・防犯、一流の人と触れる機会作り
- ・子どもの意志の尊重
- ・授業の中で、どれだけ学力を高められるか。
- ・少子化問題は、そもそも、家を建てられる基準がものすごく厳しすぎる＝人が増えない＝子供が減る。当たり前です。根本的な改革が必要。
- ・上三川町は、子供に対する扶助が少ないと感じます
- ・通学が困難な地域の場合はリモート授業を行うなど、従来のやり方にとられない教育方法が大切だと考える
- ・宇都宮市との合併などにより児童数確保、及び部活動確保に努めていただきたい
- ・勉強をしなさいと言う考えを押し付けては行けない人自分から学ぼうとしなければ頭に入らない強要は必要ない人としての人間性を学ぶ場所にした方がいい、一番に学校が楽しいと思えないと行く気にならない
- ・通学距離が一定以上ある場合、通学バスの検討。
- ・必要であれば、スクールバスの運用など、登下校時の安全の確保をお願いしたいです
- ・生徒数が減少し、教員数も減る、教育の質の減少が現在の上三川町。と感じている。学校を統合してもいいので、もう少し子供たちにたいして愛情、熱意のある教育、生活指導を切に願う。
- ・低学年が自分の足で通学できる距離にあって欲しい。
- ・既存学校を統廃合しなくても維持できるように、子供数の増加に資する施策を実施すること
- ・複数クラスになる事で、多様な人間関係を知らずのうちに学ぶ機会になるので、単学級より人間関係性を学ぶ機会が増える。人間関係の再構築がし易いのではないのでしょうか。また複数学級学校の方が、先生方の授業研究も切磋琢磨されると考えております。通学に関しては適切距離を超えた場合、バス通学など教育委員会主体で対策する必要があるとおもいます。
- ・通学路の安全:交通量が少ない割に、アパートや工場があり地域住民以外の往来がある。防犯の意味合いで監視カメラの設置など検討してほしい。
- ・通学路が安全か、外灯や横断歩道はあるかの確認
- ・学区にとらわれず 通学しやすい 環境を整える
- ・子供の意思を第一に尊重する
- ・高齢化が進み、80歳以上の方が運転する車の事故が増している。そのような人達に、未来ある子どもたちの命が奪われない為に、通学路になる道には必ずガードレールなどを設置するべきだと思う。
- ・質問とは違うと思うが子供が小学校に入学した際のこと改善していただきたい部分があります、まず、学用品購入について、購入するのはなんの問題もないが、購入するものがあるのであれば月初めや学期始めなどまとめてお知らせをして頂き、何が必要でどのぐらいの費用がかかるかを知らせてほしい、毎週のように用紙込み用紙を持ってきて週末買いに行かなくちゃいけないのであれば、ある程度まとめてお知らせしてもらった方が動きやすい。下校について、下校の際、当日の欠席や帰宅方向が違うなどで下校班が変わる場合があることを入学時知らせるべき。先生が下校時ついてきても子どもとおしゃべりをしているだけで見ていないのであればいけないのと同じ。子供の安全を考えるのであれば、以前学校に問い合わせた時下校指導時バタバタして見ていませんでした、という言葉聞いておどろいた。バタ

- バタしているなら、そちらの用事を終わらせてからでもいいので確実に子供の安全を確認した上で、下校させてほしい
- ・少子化がすぐに改善されることは難しいことなので、ある程度通える範囲のところでは廃合はやむを得ないと思います。もしスクールバスなどが可能であれば、遠い地域の子供も親も安心かと思えます。あとは小規模校のデメリットではなくメリットを伸ばしていけるような教育を考えていく必要があると思います。
 - ・小中一貫校の新設が必須だと思う。
 - ・通学距離は、登下校の安全において大切だと思います。距離が長いと、登下校だけで疲れてしまい家庭学習に支障が出ると思います。家庭学習を重きにしない学習カリキュラムを行うことも一つの案なのでは。
 - ・まずは、安心安全、命を守ることを第一に考えてもらえれば、自然と道が見えてくるのではないかと。
 - ・単学級は避けたほうが良いのではないかと。そのために他市町村にならない統廃合を早く検討すべきだと思います。
 - ・校舎が古かったり通学路の車通りが激しいところが多かったりと小学校に上がるのが不安です。南河内のように小中学校にしてバス登下校だと安心できます。
 - ・安心で安全な環境は、もちろんの事、地域の方との連携、ボランティアは必須だと思う。
 - ・子供に多く負担をかけない環境作り
 - ・登下校の安全と子どもたちが安心できる環境だと思います。
 - ・少子化を防ぐ対策をすべき。教育費、育児サポート等。教育委員会で出来る対策を願います。
 - ・中学校では、クラス数が少ないことにより教員数が減り、部活動がどんどん減っています。もっとやってみたい挑戦してみたい活動があるのに参加することさえ出来ない現状です。部活動は中学生にとってとても大切な経験になります。ぜひ、もっと子供達が自由に選び、積極的に参加出来る仕組みを作って頂きたいと思えます。
 - ・スクールバスがあると有難い
 - ・安全については、最優先で考えていただきたいと思えます。また、状況によっては、指定校を選択できるような柔軟な対応があってもよいと思えます。
 - ・通学の利便性、安全性を考慮しつつ、生徒が部活等で積極的に登校する環境整備を。
 - ・自転車で通いやすい学校にする（通学路が安全か）、場合によってはスクールバスなどを利用できるといいと思う
 - ・大学や運転免許などのように、学びたい時期に病気やケガをしてしまったり、いつでも学び直しが可能な憩いの場が必要な為、学校はいきいきプラザのように、学べる施設として、廃校ではなく施設変換する。通学は、その施設から学校として、リモートも検討する。
 - ・少子化に比例して、教員不足を感じます。もっと柔軟に、学区を町内なら選べるようにし、こどもが自由に選択できるようにしてほしいです。上三川は他市町村に比べ、全てが固く、融通が効きにくいです。
 - ・生徒数が少ないなら統廃合すべき
 - ・家が遠い子どもの行き帰りに不安があること。街灯の暗い場所が多い。
 - ・1クラス20人くらいがしっかり目が行き届く人数だと感じる、通学の問題はスクールバスしかないと思えます
 - ・通学の安全。通学バスなどの配備
 - ・子どもの精神的ケア。いじめ対策。

- ・通学距離があまりないこと、悪天候で家族の送迎が困難な人もいると思うので。
- ・毎日の持ち物をもっと軽くして身軽にするべきだと思います。教材は基本、学校に置いておく。宿題で必要な物だけ持ち帰り次の日はそれらを持って登校する。
- ・スクールバス
- ・個々の性格や家庭環境などを理解し、個々が望む教育環境を提案していく必要があると思います
- ・教育面においては、学校が学び場として正しく機能するように、教師1人あたりの子供の人数を負担がないように適正化を行い、授業の質とコミュニケーション能力の向上。通学面においては、交通ルールを学ぶ上【信号機、横断歩道等】で、ある程度の通学距離が必要だと考えています。さらには、授業でKYT等実施して頂けるとさらに良いと思います。
- ・信号機や歩道自転車専用道路、ガードレールなど安全に通える通学路を作って欲しい。
- ・多少、通学距離が遠くなったとしても一定以上の人数がいることが、子供にとってより良い環境だと思うのでスクールバス等活用しながら統廃合をし、適正規模校にした方が良いと考えます。
- ・とにかく現在子供が通っている小学校の人数が少なすぎる。(11人と13人の1クラスのみ)狭いコミュニティの中で、先生方は他学年とも仲の良い横の広がりがある事を利点としていますが、実際問題事が起きた時など逃げ場がなく、新しい友達を。と言うわけにはいかないのが親として考えてしまうところです。上三川小学校だけ人数は変に多すぎるのに、年々、上小学区内に住宅地を増やしているのは何故なのか??人数に偏りがありすぎて、中学校に上がった時にほとんど上小あがりの人たちばかりですよ、毎年。そこらへんは何も考えてないのだろうなと強く思います。入学前、入学してからもっと全面的に学区外の学校への入学もありだとお知らせを入れてほしい。ここしか無いですと言われればそこに行くしか無いので。色々選べれば、車で通学もさせられます。とにかく上三川の真ん中だから?上小、上中近辺だけを栄えさせようと住宅街にしていく計画は本当に合っているのか疑問です。だからあの近辺だけ子供たちが多いいのです。
- ・教育の差
- ・学校の適正規模、適正配置を行うのは基本的にはいいと思いますが、子ども(特に小学生)の通学時間、また通学路の防犯など充分に対策出来ているか気になります。場合によってはスクールバスや保護者の送迎も検討しないといけないのかなと思います。適正規模にすることで、教育がどのくらい質が向上するのも参考までに内容を見てみたいです。
- ・学校を統廃合する場合は、スクールバスの運行等、子供達が安全に通学出来る事が、最低条件だと思います。
- ・子供の未来は私達みんなの未来です。学校だけで完結せず、保護者、地域巻き込んで安心して学べる環境作りができるといいなと思いました。
- ・これから益々グローバル社会となる中、英語教育に乏しすぎると思います。小学生のうちから、もっと積極的に国際交流の場を設けて、子供達に興味、関心を持たせる努力が必須だと考えます。
- ・部活動が少な過ぎる。学校単位の部活動だけでなく、外部委託のクラブ活動も取り入れてもらいたい。やりたい部活動が無いという事が問題で、少な過ぎる部活動を選ばなければならぬ事がおかしい。スクールバス等を使い、人数を増やす取り組みがあっても良いと思う。
- ・通学距離と通学路の安全性
- ・人口減少に伴い外国人口労働者が増加する事が見込まれます。その事に伴い外国人や外国人

二世三世の子供達と仲良く教育が受けられる環境が必要かと思います。

- ・登下校の安全性
- ・子供自身の考えも配慮すべき。
- ・少子化に伴い、1学級の人数を検討し（35人より少なくする）、教室にゆとりの空間を持った環境でも良いのではないかと思う。今後、学校統一を考えるとしても、登下校は安全を考えた方法を考えてほしい。
- ・地域と子どもとの関わりにも配慮する。登下校の安全が確保されること。
- ・通学路の安全確保
- ・安全に通学ができる事。地域との交流も大切。だが、防犯対策も必要。小規模・大規模ならではのお互いの良さを引き出しだす。もちろんデメリットもあるはずなので、そこは保護者に説明する！
- ・フルタイムで働くお母さんの増加は、子どもの成長や変化を見逃してしまわないように。夫婦平等とは、命の尊さにおいて平等ですが母親と父親との役割は違うと思います。子育ては、人育てなのでとても責任のある重大なことです。過保護過干渉は、子供の伸びる芽の妨げになりかねません。子供を信じて見守ること。子供の成長に伴い親の関わり方も変えていくと良いと思います
- ・通学時間が長過ぎないこと
- ・道を挟んで学区を定めず、人員などで柔軟に対応できると良い
- ・交通事故や誘拐、通り魔、痴漢など子どもたちにとって危険が多い世の中です。防犯には十分に配慮頂きたいです。
- ・小学校、中学校共通ですが、以前より1学級の定員が多すぎると感じています。定員数は変えられないので、20～35人/クラスになるようなら、町として補助教員を必ずつける等、複数担任制にしてほしい。そうすることで、子ども一人一人への関わりを増やせるし、教員の負担も減ります。ぜひ導入をお願いします。
- ・安全に通学できる距離及び地域環境や通学バス等の配備。統合して人数が増えた事で、生徒一人一人まで目が行き届かないといった事への配慮。
- ・①1年生の頃から毎日数kgもするランドセルを背負い、30分以上歩かなければならない地区の子供がいる。その子達は時間がかかるがゆえに、学校開門の1時間近く前に出発する。田舎だから仕方がないことかもしれないが、一つの小学校に対して学区が広すぎる。徒歩で通うには厳しい環境すぎる。また、本郷台のような歩道と車道が整備されているエリアはまだいいが、大半は歩道がなかったり、ガードレールもない。日産工事や真岡工業団地が近いので、大きな車やスピードを出す車、信号無視する車が多いため大変危険。中学生の投稿時刻が重なると、自転車とのすれちがいも発生するため危険度が増す。通学時間に対する対策、通学路に対する対策をよく検討していただきたい。②教員の質改善が必要。定期的に子供からヒアリングしてもいいのでは。セクハラ的な行為を受けたと言う児童や、校内で喫煙する教師がいるなど真偽のほどはわからない話だが、保護者の耳にも入っている。教師が少ないことは承知しているが、教師同士、学校関係者同士が互いに目を配れるような環境整備をお願いしたい。
- ・特に中学校は学級の減少により教科担任が不足しているため、統廃合も視野に入れ、町内外の子供たちとの学力格差が出来ないように配慮して頂きたい。統廃合の場合、距離のある地区にはスクールバスなどの運行も考慮して頂きたいです。
- ・統廃合などした際に、遠くから通う事が負担になる事や、危険が伴うので、スクールバスな

- どを出したほうが良いと思います。あまり大人数でも、教育は行き届かないと思います。かといって少ないのも、社会勉強、人間関係、などの観点においてどうかと思います。先生方や地域の方が目の行き届く範囲、人数でできるのが一番良いのではないかと思います。
- ・学校に通うということ自体が子供達の喜びだと感じています。規模や距離は子供達にとってそんなに大きな問題ではないと思います。
 - ・安全で快適に過ごせ、学習に集中出来る環境が大事だと思います。高学年で36人1クラスは狭過ぎます。
 - ・どの年代にも個々と集団のバランスを大切にしてもらいたいです。
 - ・遠い場所からも受けいれたりバス通学を増やしていく。
 - ・通学の配慮は遠い生徒はスクールバスを活用すれば良いと思います。町の負担で。
 - ・校庭が広く、たくさん車が止められる駐車場がある。通学路に歩道がある。不審者対策として、カメラの設置。
 - ・スクールバス等を利用した通学
 - ・統合、スクールバスの導入等
 - ・一律に考えないことでしょうか。地域、規模それぞれの良さがあると思うので。
 - ・安全に毎日通えること
 - ・遠くから通学する子もいると思いますが、暑い時期や寒い時期など通学途中で体調を崩すこともあると思います。長距離の通学には送迎などで通学をサポートするシステムを検討すべきだと思います。
 - ・最近の夏は年々暑いのに、栃木は学区が広いし、通学路に日陰もないし、子供が可哀想。夕立も雷もすごいんだから、スクールバスにすればいいのに。子供も減ってるなら、できそななきがしますが。
 - ・学区であっても、通学距離が長い場所は、近くの学校にした方がいいと思う。
 - ・幼稚園は特色がある場所が多いのに、なぜ小学校からはないのか？それぞれ特色のある学校を選択することで、子供たちの未来が変わってくるのでは？
 - ・通学の視点からすると、通いやすい、距離が遠くない、歩道があるなど
 - ・通学路が安全であること、ランドセル内の荷物が軽くなるように置き勉などが出来ること、新しい教材が充実していること、学童が充実していること(共働き世帯が増えているため土曜日も学童をやって欲しい、人数も拡充して欲しい)、鉄棒などの遊具などが充実していること
 - ・遠距離から通学する場合スクールバスを導入する事で統廃合や新設校への誘致がしやすくなると考える。また教員不足に関して子どもの教育活動に大きく影響する為、部活動には専門講師等を採用し教員の負担を減らし応募しやすくなる環境を教育委員会が積極的に働きかけない限りアンケート自体が無駄になる事を重く受け止めて頂きたい。
 - ・スクールバスでの安全通学により、学校統廃合による人的資源集中を円滑に進めるべき。
 - ・トイレなど綺麗であること
 - ・通学に1時間弱かかるようなら近くの学校に選択できる様にする。小中一貫校など、今までの固定概念ではなく、新しい意見はどんどん取り入れて欲しい。
 - ・学校が遠いと車での送迎になってしまい、交通渋滞がおきて迷惑をかけることに繋がるので、現状維持が望ましいと思います。
 - ・学区に縛られず、柔軟に対応していく
 - ・学校の統廃合を行なって学校あたりの児童数を増やす。スクールバスなど広範囲から通える

ような柔軟な通学方法を検討する。

- ・通学距離が長い地域はバスを出す。通学路の街灯増や歩道整備などの交通安全活動。学校の耐震化。学校の冷暖房やトイレの整備。美味しい給食の提供。教職に適正な人財の採用。教育の困りごとを教育委員会が取りまとめ解決する仕組みの構築。
- ・塾に行けない、習い事ができない子のためにも補講を行うこと。それから、老朽化したプールを屋内プールなどにして真夏でも利用出来るようにする。町のプールなども老朽化してしまっているため、子供の遊ぶ場所が減り体力や、運動能力が落ちている子供が増えている。教員の質の向上も必要であると思う。生徒に信頼され本気で生徒に向き合えるような芯の強い教員が必要である。通学路の横断歩道なども同じ場所ばかりでなく、日によっては別の場所に先生が立ってくれると助かります。
- ・通学時間が長くなるのは好ましくない。また、快適に勉学に励んでもらうため、クーラーや暖房等でしっかりと温度調節をしてほしい。
- ・生徒数の減少や一部の学校への偏りに関しては周辺環境(学区内環境)の見直しが必要と考えます。私が住んでいた本郷北小、本郷中学区においては、以前から高齢者が多い印象を受けます。特に西汗、木代、上文挾、蓼沼周囲はより顕著かと。また以前は小中学生が多かった本郷台団地や美里団地も高齢者世帯やそれに近い50歳代の夫婦、両親+成人の子供など子育てを終えた世代が増えてきている印象です。住宅数は多くても子育て世代の居住が少ない印象です。私の同級生も、ほとんどが県外に就職しており、実家である本郷台には両親だけという方が多いです。団地の拡大にも限界があり、これ以上の住宅の新築は見込めないため新規の居住者を迎えることも困難かと思えます。かといって、土地の余っている西汗、木代、上文挾、蓼沼などに団地を作ろうにも、ほとんどが市街化調整区域、農業振興地域でありこちらも新規居住者を迎えることが困難かと思えます。実家や親戚の土地を譲り受けて新築を建てようにも、徒歩、自転車圏内にコンビニやスーパーがないような地域に住みたいと思う人は少ないかと考えます。本郷地区の高齢化の状況は明治地区や坂上小、北小地区にも同様なのではないでしょうか。その反面、上三川小、上三川中学区では新築のアパートや一軒家が毎年のように建設され、積極的に移住者を増やしているような印象を受けます。またコンビニやスーパー医療施設などが整っており、上三川町をよく知らない人でも住みやすい環境は整っていると思います。本郷地区、上三川地区の両方に居住しましたが、住みやすさは断然上三川地区でした。そして、現在は上三川小学区に一軒家を買いました。本郷地区の実家周囲での子育ても考えましたが、周囲に子供と歳の近い子がおらず、登下校は恐らく1人になってしまう、冬は街灯もない農道を1人で歩かせなくてはならない、車通り多い道路に歩道が片側にしかないなど、子供にとってもデメリットの方が多かったです。本郷中時代の同級生が上三川地区に移住したことも後押しとなりましたし、私たちに付随して移住を考えている同級生もいます。小中学校の学区の生活環境や住宅の規模を見直さない限り住みやすさを求めて上三川学区への移住者は増え続けると思います。
- ・1人1人の尊重
- ・一人一人に目をくばること
- ・子ども達の安全、安心を第一とした場を整えて頂く。
- ・通学バスなどで、安全に通学ができること。できないことはそこそこに、できることはどんどんと伸ばしてほしい。
- ・教育拠点の集約とそれに伴う通学体制
- ・少し離れた所に家がある方々が安全に通学できるように、危険箇所での誘導。

- ・上三川小学校は人数が多すぎる。又ほとんど中学校もメンバーが変わらないので、良くないと思う。小学校は2つに分けてもいいと思う。
- ・近年の環境は昔と全く違ってきていて、夏の猛暑の中で小一時間重い荷物を背負って通学する小学生を見ると本当に可哀想に思う。私の家の学区は上三川小学校だが北小学校のほうが距離が近い。近所には北小学校に通っている子がいるがその子が家を出ている時間は7時20分だが、他の上三川小学校に通う子達は7時に家を出ている様子である。毎日の登下校で比較すると40分の差が出ており40分×年間200日×6年間=800時間も教育格差が出てると言っても過言ではない。一刻も早く見直すべきである。通学にかかる時間をもっと家族という時間、勉強する時間に当てるべきである。
- ・最近、配布物がペーパーレスになったくらいで公立小学校、公立中学校は30年前と比べても大きな変化が見られないと思います。今の社会に適應できる環境作りをお願いしたいです。例えばリモート授業や学校での授業のどちらかを選択できる環境だったり、授業内容を録画し、いつでも学習を見直せる環境だったり、今のテクノロジーを使ってできることをぜひ考えていってほしいです。
- ・通学路の整備・安全確保
- ・近年、通学時に犯罪や事故に巻き込まれる事案が多発傾向にあると感じる。遠距離通学が必要な場合は無理に徒歩で通学させず、通学バス運用や父兄による送迎制度を積極的に活用すべきと考える。子供の安全を最優先して制度運用を図ってほしい。
- ・安全な通学路の確保をして欲しい。安全な学校であって欲しい。
- ・私自身の経験になりますが、小中学校は1学年40人程でしたが当時はそれを少ないと思ったことはありませんでした。人数が少ない分、先生たちの目が届きやすく授業も快適に受けられた記憶があります。部活動の選択肢が少ないのは残念でしたが人数が少ない分、試合に出られる回数が多くなり良い経験になりました。小規模な学校が自分には合っていたと思います。通学に関しては、他校と統合などして遠くなってしまうと冬場の日没が早い日は真っ暗になってしまうので不安です。上三川町は田んぼが多くて夜の明かりが少ないと思うので子供達が安心して通学できるようにしてほしいです。小規模だからと統合して学校が遠くなり、通学に負担は掛けたくありません。共働き世帯も多いと思いますので送り迎えも難しいと感じます。適正規模だけにとらわれず総合的に判断して頂けたらと思います。
- ・1 極力子供が増える結果の伴う政策をすることは必須 2 ギリギリまで統廃合せず 1 学級が少数でも存続して欲しい。 3 それでも現状が維持できない場合は、小学校が無くなることにより、地域の活性がますます無くなる。統廃合する場合の重要なポイント。
- ・明治南小付近の道路ですが、車通りが多いところに歩道がなく歩くのに危険がある。まだ通学路の車道（車通り多い）の横断歩道個所に信号もなく、見守りの大人がいない時などはとても危険である。街灯が少なく、冬場の帰り道など暗く人が少ないので危なさを感じる。
- ・学校の統合をしつつ、教員の負担を考慮すべきだと思う。通学時間が長くなる生徒に対しては、スクールバスの導入もよいと思う。
- ・教員の方も保護者もどんどん忙しくなっている中で、子供の教育の質を落とさずに改善するにはタブレット学習をもっと取り込むべき。タブレットの丸付けなども自動でやってくれる教材もあるし、文字の書き順も自動で判定してくれる。PTA 活動や校内行事も教員や保護者が行わないで外注業者に頼むことで質も上がり負担が減少することができます。デメリットはコストだと思うがそういう部分にお金をかけるべきだと思う。各家庭の負担も PTA 活動がなくなるから喜んでお金を出す家庭も多い。PTA 活動は本当に廃止してほしい。役員決

めは毎回地獄である。今の時代にあっていないし、誰も幸せになれない活動。楽しみな入学式もこれがあるから気持ちが沈む。

- ・私自身が子供時代小規模校に通っていて、その後、統廃合による転校（と呼ぶのが正しいのか不明ですが）を経験しました。新しい学校は、小学生の足では遠く、通学はスクールバスでした。スクールバスが使用できない地域の友達には、公共のバスを使って通学している子供もいました。（多分定期が支給されていたと思います。）バス通学をすると、バスの時間に制限されて、特に放課後の活動に制約がありました。バスに乗り遅れると、2時間近く歩いて帰宅した記憶があります。現在も、共働きの都合上、家にすぐ帰らない子供達も多いと思います。学童施設を含め、放課後活動を充実させてあげる体制が必要だと考えます。私自身、統合され、同級生が増えた方が、圧倒的に良かったと思っています。こじんまりした集団も、団結力があってそれはそれでと思いました。がやはり、多くの人と関わって（先生の数も多く、いろんな先生と会う機会ができる）いろんな人の考え方にふれる事が出来るのは貴重だと思います。小さなコミュニティだとともすれば閉鎖的になってしまう危惧もあるかと、私の子供時代と違って現代では通信機器も発達しデジタル管理も容易となっている為、通学問題は管理しやすくなっているのかなと思っています。又地域のボランティアの皆さんと連携すれば安全の担保もしやすくなるのでは...
- ・最近ではプログラミングなどPCやタブレットに触れる機会も多く、時代の流れに適応できる力をつけている環境の提供をしてほしいと思いつつ、文字を書く機会が減少していることで文字を書く力の弱い子が多い現実がある。バランスの良い教育の提供を望む。教員の数は減少傾向にあるのか？余裕があれば1クラスに2担任。距離的負担が発生してしまうエリアには通学バス制度を設ける等して、学区外からの受け入れも検討する。上三川小学校+北小、本郷小+本北小など近いエリアでの統合は賛成
- ・お互いを認め合うことを基調とし、児童生徒が自己有用感を持てる教育活動が何より大切であると考えます。誰もが排除されない環境を整備することが大人の役割ではないでしょうか
- ・子供の部活動の送迎を親がやっているため、昔みたくバス等の支援をして欲しい。子供が部活やりたくても、親が大変すぎて、部活動をやらせてもらえないという家庭も多いですよ！って話を聞くので。
- ・少子化、教員の負担が問題になっているなら、もっと教員をたくさん雇用すればいいと思う。教員は自分が小学校に入学した時から退職まで「学校」という枠組みの中で生活している。もっと「転職先としての教員」という選択肢を増やせば、ちょっと有り得ない考え方の教員やアスペの教員など、子どもを腹いせの対象にするような輩が炙り出されると思う。先生って「他人は自分の話を聞いて当然」って思っている人いますよね。社会じゃありえないですからね。プレゼン下手なら子供が授業聞かないの、当然ですよ。ビジネス相手が子どもだと思って、仕事をナメている人、実際いますよね。
- ・規模より自分が産まれた学校地域で学んでいくことが大変大切であると考えます。少人数になっても、将来を支える子供のために町の予算を使っていただきたいです。学校の改修 etc..親子さんの中で田舎の環境で学んでみたい方に学区外を外し、学校の自由化なんて将来的にあると良いですね。地域における特色ある学校づくりなんてどうでしょう？
- ・上三川町内の各交差点、危険箇所の洗い出しと歩道の環境面での整備を是非積極的に推進してください。
- ・通学時間及び安全を配慮した通学路を考慮した学校の適正配置が望ましい
- ・今までは地域の学区の学校へ行くのが普通でしたが、これからは自分の行きたい学校へ行け

るようにするべき時代なのかとおもわれます。また、学校もいろいろな特徴のある学校があれば、いいのではないのでしょうか。通学は安全面を考えてスクールバスを出すことができればと思います。

・通学の安全の確保

- ・私は現状のままの学校配置で統合する必要はないと思っております。たくさん学校があることにより、通学の距離が近くなる子供が多くなると思いますし、生徒数が少ないことは一人一人によりよく対応していただけたらと思います。もし生徒数に合わせて先生の数が決まってしまうのであれば統合もありかなとは思いますが、自分はデメリットの多いかなと思っています。子供たちが安全で楽しく学校生活を送れるのであればそれが一番だと考えておりますのでより良い学校作りをよろしく願いし致します。
- ・登下校の時の事故や事件などのニュースをよく見るので、自分の子どもが大きくなった時に子どもだけで小学校・中学校に行かせるのが不安なため、安心・安全でいつも見守られているような環境であってほしいと思います。また、教育者からの虐待や友達間のイジメなどもないよう、学校や家庭でこまめに連絡や情報提供できるようにしていただきたいです。体を動かす機会も減ってきていたり、やりたい種目などが近くではできなかつたりもするので、楽しみながらたくさん体を動かせるような環境にしていきたいです。よろしく願いします。
- ・大人がこうあるべきと考えたことを子どもに押し付けないこと。子どもはどう考えているのか。子どもが負担と感ずることがないようにするべき。
- ・どの学校も古いので、新しくしてほしい。それに伴い、複数校を合併してもよいと思うが、学区が広がってしまうので、スクールバスを運行してほしい。（遠くても通学が安心）
- ・毎年学級が1学級になったり2学級になったり変動し、子供も親も環境に慣れるのが大変。特に2学級が1学級になったときはクラスの人数も倍に増え教室がぎゅうぎゅうで狭く、子供の心のケアが必要。1人2人の増減は臨機応変に対応してほしい。中学校の部活も早く地域移行してほしい。複数の中学校で合同活動できるようにしてほしい。人数が少ない中学校へいく子供は入る部活の選択が少なくやりたくない部活を3年間やるのはかわいそう。中学校の先生の負担も少なくなる。我が子は環境の変化に対応するのに時間がかかったが、先生方の手厚い対応のおかげで少しずつ前を向くことができている。先生方には感謝している。しかし先生への仕事の負担や子供達へのきめ細かな対応などを考えるとできれば35人ぴっぴたりにするのではなく子供達や先生のことを考え人数配分してほしい。無理だとは思いますが。
- ・どこの学校も老朽化が進んでいると思います。震災に備え、学校を新築することを願います。
- ・地域に住んでいる周りの大人達が子供達に関心を持つことが大切。少子高齢化の時代は子供の人数が少ないので一人一人の大人が子供にコミュニケーションを取ることが重要
- ・親の経費等に負担がかからない様にしてほしい。小中学校の統廃合を積極的に行うこと。少子化と先生数を確保できていないことから。
- ・各学校にあった教育活動、個々の個性を生かせるような通学時間は皆同じようにはならないと思うが、考えますね。少子化により少なくなるが、より良い環境になるよう考えて行かなくてはならないと思いますね。
- ・部活動に入りたいが、送迎や金銭面で厳しい家庭はやむをえず、入部しないという話を聞いたことがあります。私は、小、中、高と部活動に入り、メリットが多い寄りに感じたためその支援についても検討していただければ幸いです。
- ・子どもが通いやすく、様々な教科が学べるのが理想です。小、中学校と規模が縮小されて

いくのであれば、通学方法の検討をして欲しいです。ex)通学バスの利用 このアンケートの集計結果が何らかの形でお知らせしていただくと幸いです。

- ・通学について気になることがあります。交通指導員の方が帰りに児童と一緒に歩いているのを見ますが、離れて一人、また離れて一人になっている子が1、2人いつもいます。不審者が多い時代なので、集団で下校していただきたいと思います。教育活動についても、子どもを1人にしないことが重要かと考えます。また、通学時間については、子どもの発達段階によって、スクールバスの検討をした方がいいと思います。
- ・通学時間、通学路の交通状況、自転車道の確保、部活動や課外活動の充実（指導者の確保）魅力ある学校に自由に行けるとよいですね。
- ・人と人の関わり合いをこの時期に経験することで、大人になったときに礼儀、あいさつ、言葉遣いなど学んでいけるようになったらよいと考えます。
- ・保護者の都合
- ・子供達の通学路の安全の確保ガードレールの設置や歩道の整備等
- ・持続可能な教育環境を維持するために児童数の少ない小規模校の統廃合はやむを得ないと思うが、通学に1時間以上かけて通うのは、負担が大きくなってしまいますので、仮に統廃合により通学時間が1時間以上の地域がでるようであれば、スクールバスの導入なども検討すべきだと思う。○将来のまちをどのようにしていきたいか、都市構造の観点からの適正配置の視点も重要であるため、きちんと盛り込んで欲しい。○小規模校と大規模校のメリット、デメリットをきちんと把握できていないのですが、親の立場からすると、教育レベルの高い環境で学ばせたいというのが本音だと思います。そこには、当然教育の質も必要となりますが、全国的に大規模校の方が偏差値が高くなる傾向があるとすれば、そういった視点からも検討しても良いのではないのでしょうか。
- ・教師の質の改善 子にとって両親の次に関わる時間が長い大人である。子供達の見本とまでは言わないが何事にも真摯に向き合うことのできる人たちの集団であってほしい。勤務形態の改善や生涯教育制度の見直しなどを回り、質の良い教育ができるように現場体制を整えていく必要があると思う。
- ・統廃合の検討 スクールバスの利用 ご苦労様です
- ・本郷北小の通学路には、街灯が少なすぎます。冬季は日が暮れるのが早いので、4時頃には真っ暗になります。安全性がないように感じてしまいます。早急に対策してほしいです。
- ・子供達の遊べる施設が減少しているので土日や時間を決めて放課後校庭の開放をしてほしい。働く母親が増えてきているので、特に小学校では半日の日は預かってもらえるようにしてほしい。お迎えに行くときの駐車場が増えてもらえると助かる
- ・栃木県は車社会なので、安全な通学路を必ず整える必要があると思います。
- ・1学年2クラス以上を確保する対策を検討し、将来的には老朽化した施設から統廃合を行う。○先生の不足がある場合には、退職した先生の再雇用を検討する。○通学に関しては、1人での通学にならないよう配慮する。統廃合により、小学校3km中学校6kmを越え、通学が難しい場合、送迎バスの導入を考える。
- ・町民親から聞いた話です。野球、サッカーは屋外で行うものなので、各小中校に外に雨が降った場合の待機場があった方がよい。バスケットボールは屋外フリーコートなどを設置してあればよい。人口は増える見込みは高くないため、流出または新しく入ってくる人たちに魅力ある街づくりをしてもらいたい。微力ながら上三川町の発展に協力したいと思う。上三川町も大変だと思うが頑張っていきましょう

- ・通学路を広げてほしい。道路を通る場合交通量が多く狭いと危険なため
- ・通学時間の縮小
- ・あまり少ない児童数での学校では友達等がなくて子供たちがかわいそうなので複数の学校の統廃合をしてでも学校自体の生徒数を多くした方が良い
- ・住民と子供達とのコミュニケーション
- ・小規模校のよさを感じる子もいる。学区外からも通える小規模校を整備し、その上で過疎化が進んでいる地区の小規模校を合併すると良いのでは？校区が広すぎる時はバス通学！！校舎新設の際は学童保育スペースを広く確保して欲しい
- ・毎日安全に通学できること。先生、級友と心からふれあい成長していける学校がいいと思います。
- ・全学年の保護者から毎月集金し、登下校を見守ってくれるアルバイトを雇うべき。ご近所のシルバーに依頼するのは無責任。しっかりお金を払い、学童の安全につとめるべき。その上で、登下校に要する距離や時間を考える。あるいは、保護者がお金を支払い、バスを運航する。もっと各家庭からも支出し、子供の安全や学ぶ環境を整えることを考える必要がある。
- ・いじめに関してしっかり向き合えるか。小さいいじめでも学校がしっかり向き合ってくれるところであれば安心できる。いじめが起きてからではなくいじめ防止に力を入れてくれる学校が増えることを望む
- ・子供に無理をさせないように配慮、あまり通学に時間がかかるとは集中力が欠ける。人見知りや人とあまり交流するのが得意ではない子も多いのでみんなが仲良くを強制せずに多様性を見てほしい。気を配ってほしいと思う。子供が多くなれば複合となっておそらく面倒ごとにもますます目を瞑る人も増えるだろう。それが心配
- ・アンケート調査お疲れ様です。子供一人一人が個性を生かしてのびのびと生活学習できますことを願っています
- ・小中学校の通学路付近の道路整備や現役引退した方達の協力を得ながら子供を地域全体で支えていけるような取り組みを継続して行っていくことが必要。今も交差点などに立ってくださっている地域の方には感謝している。少子化になっても今の適正規模が適正なのかというところも気になる
- ・学校視点だけでなく、町全体の設計があってしかるべき。安全な登下校の対応も重要。教員の育成、採用方法も同時に検討すべき。
- ・少人数の場合、一人一人に目を向けた細やかな指導ができると思いますが、小中学校で自分と異なる考えを持つ人と触れ合うことは、人格を形成するうえでとても大切だと思います。少子化により子供が減少しているなら、近隣の学校を統合し、一定の児童生徒数が維持できるようにしたほうが良いと思います。そのためには、遠方から通学することになる子への配慮として、スクールバスの運用が考えられると思います。スクールバスの運用に関しても、子供たちの乗車下車を確実にを行うための人員確保が必要だと思います。（教員は学校で子供たちの登下校指導があるため、バスの要員までできないと思います）学校数が減ることで、老朽化した設備の維持費や修繕費は減少しますが学校を統合することで新たな必要費が出てくると思います。しかし、子供の9年間という貴重な時間を充実したものにし、未来につながるために本当に必要なものは何か、限りある財源をどのように使うのが良いかを考えていただけると幸いです。余談ですが、上三川町の少子化を防ぎたいのであれば、保育園、学童保育の充実が急務だと思います。今の時代、共働きで近所に祖父母がいない家庭も多いと思います。社会復帰しづらい町では少子化は進む一方だと思うので、合わせてご検討いただ

きたいと思います。

- ・スクールバスの充実 通学中の安心安全、事故防止、天候への対応、統廃合しても不便は減らし、一つに学校をまとめて資金を注ぐことで、より良い施設環境も整う。
- ・とにかく宿題が多すぎる 教科ごとに出され、まとまって全体の量を見た時、とても多い。全体の量を調整してくださる方はいるのか。
- ・子供が中学生になると、自転車で中学校まで通うことになりましたが、部活動などをすると、どうしても帰りが遅く暗い道を通ってくると思うと心配です。もう少し、町中の街灯を明るく、帰るときに怖くないような道にしていきたいです。
- ・今後、いじめゼロの学校をめざしてもらいたいです。また、いじめが発覚した際の対処等もきちんとして、不登校児が減少して欲しいです。
- ・今後、廃校になる学校が生じてしまうのはやむを得ないことだと思いますが、その学校の卒業生達は「できれば母校はなくならないでほしい。」という気持ちがあると思います。廃校となった後の活用方法を合わせて提案していただけると、安心して受け入れられると思いますので、画期的な活用案を期待します。
- ・少子化といえど、なるべく多くの同学年の子供で近隣の小・中学校の子供たちを接する機会を持つべきであると考えます。インターネットやテレビ会議システム等を使用し、不足しているものを無理やりなんとか増やそうとするのではなく、道具をうまく活用すべきではないかと思う。例えば、予備校の東進ハイスクールのように、30年前私自身否定的だったもので今や主流となりつつものもあるのを参考にしていいただければと思う。
- ・子どもにとって最高の教育を受けさせることが最重要である。子どもが受ける教育・指導を甘やかしてではなく最優先する。教育を受ける場所として学校は最適なのか？現学校を生かすのであれば統廃校の検討、教育者自身の意識改革（地域内移動を含め一人当たり3校～5校で専門学の指導を考える時代が既に来ている。
- ・通学距離が長くなりすぎない、一人で歩く箇所がなるべく出ない、親の負担にならないような通学方法。ある程度、子供の人数、教員の人数のバランスがよく、子供同士の関係、大人との関わりのバランスがとれていると望ましい。
- ・スクールバスの導入を進めてほしい
- ・今の時代ならオンラインで授業という事も出来ると思う。そうすれば通学や学校の規模・配置などは考える必要なし、子どもの教育を考えると学校は必要、人と接する、他者と比較、競争する。オンラインでは学ぶことができない。
- ・登下校時の安全の強化、通学路の外灯設備を増やす。
- ・あまりにも歩く時間が長かったり、送迎が必要になることは避けたい。
- ・生徒数が少ないと例えば部活動のメンバーが不足していて試合に出られないとか、部自体が存在しないなど、不安なことも多い。統合すればと思うが、通学時間がかかる等の不安と心配がある。通学はスクールバス等の検討も必要と思います。部活においては先生の残業問題等もあり、働き方改革も含めて考えるべきだと思う。または外部からの部活専門の指導者も検討すべきだと思います。
- ・教室、グラウンド、体育館、武道場の老朽化対策も統合と同時に検討すべきだと思います。
- ・統合した時の廃校になった学校の利用について検討してほしい。（町のランチ屋さんとか、展示場とか、または全て崩して住宅地として販売して町の予算にして、老朽化対策に当てる等いろいろあると思います。）
- ・もっともっと上三川を盛り上げていくためにみんなで頑張りましょう。（何をどうやってが

ないから考えながらともに考えましょう)。

- ・アンケートの結果がわかるようにして欲しい。
- ・子供の教育活動や通学などの視点から配慮することは子供(保護者)に労力を費やした経緯を知っている。田舎であるほどその道のりは大変。上三川町にそれが現実的に理想かと問われたら違ふと私は考える。考える。下野市の義務教育学校に通学する身内もいるが、親子の負担は大きい。上三川町は先進的なことをやろうとしてるわけではないので、前例評価をよく検討してよく検討して労力、時間、お金を費やしすぎない手法で今後の方向性を広く教示していただきたい。広く教示していただきたい。将来展望も大切ですが、老朽化も死活問題、予算、お金がないこちらの今もなんとかありますように
- ・統廃合が発生した場合の、安全な通学手段の確保。(専用のスクールバスを準備する等) 統廃合で仮に両親が送迎に関わることになるならば、両親の就労もあるため、学童の充実や時間の延長等の検討も必要か?
- ・自分は小学生の頃、担任をきっかけにクラスの同性のほとんどからいじめられました。それで体調を崩し精神的にも自分の価値の否定や、人が信じられないなど今でもトラウマを抱えています。卒業文集に、いじめられていたこと担任の言葉などを書いたら、将来、復讐することになるからと書き直しを強要され、断ると、親も学校に呼び出され、原稿も取り上げられ、何日までに書き直ししないと空白になると言われ、無理やり書き直しをさせられました。(いまでも書き直さずそのままだが望みでした。)その後、中学に進学するのですが、半数は同じ小学校出身、残りの生徒の同性はその半数。私の頃は中学校は1学年3クラスでしたが、他の小学校出身の人に同じ小学校の出身者が、私の悪口を言ったり、小学校のその担任の旦那が中学の役職を持っていたり、中学に行っても、小学校の頃のいじめと断絶できず、いじめの加害者と同じクラスだったりして辛い思いをしました。少数で仲良くやっていける場合もあると思いますが、いじめられた場合の逃げ道がなくなることが怖いと思います。なので、合併や、近隣の市町村で通学するのに、上三川のほうが近いのになあという子などを受け入れて、人数を増やせたらと思います。いくつかの学校で合併する場合は、遠くなる児童生徒に対しては、送迎バスを出すなどの援助も必要かと思います。
- ・遠距離になる場合はスクールバスなど、安全な登校ができるようにして欲しいです。
- ・安全、学力向上、人との関わりや活動等の選択肢が狭まる事がない環境
- ・安全
- ・本郷小学校に通学しています。もちろん1クラスです。(良くも悪くも)子どもは、楽しく学校生活を送っていると思いますが、中学校へいくと他校生と一緒にになりクラス替えなどもある事を考えると「小中一貫に」とも思います。
- ・老化が進んでいるため、建て替えが必要、費用を考えると小中一貫にして、費用を抑えて早急に必要と思います。
- ・共働き世帯が多かったり、多児ワンオペで子供の習い事や遊びに行かせることが出来ない世帯もある。子供を義務教育だけでなく、いろんな体験をできる浮動拠点として学校施設が使用できたら良いと思います。
- ・少子化により学校に通う子供たちも年々少なくなっているのは事実だと思います。学校の空いた部屋等も使用して地域のお年寄りの方達に平日利用してコミュニケーションの活用のかを使用してもらったりできたら良いのではないのでしょうか。
- ・教育カリキュラムをこなす事でいっぱいいっぱいの実態を脱却し、子供達が「何のために勉強をするのか」を主体的に考えながら勉学に取り組める環境づくり

- ・生徒の教育活動の充実のために、教員が生徒に向き合う時間の確保をすべき。教員免許不要でもできる業務はボランティアを含めた外部委託をするべき。他県の実例を参考にチーム担任制を進めるべき。町の少子化は兵庫県明石市のような子育て世代が移住したくなる政策を町が進めない限り止まらないため、学校の統廃合はやむ無しではないか。その場合、登下校のスクールバスも検討するしかない。古びて使いにくい学校を複数校維持するより、設備が整った学校が一つでもあったほうが保護者としては安心できる。地域コミュニティ維持のための学校の大切さは理解できるが、学校の第一目標は子供の成長であるから、その目標が達成できる方法を優先すべきと思う。
- ・安心安全な教育活動
- ・学区の再編成にて分散し、上三川小学校への児童を減らして欲しい。
- ・宇都宮市では希望する部活動が通学区域の中学校にない場合、他中学校にも行けるシステムがあるので、上三川町でも採用してほしい。また、熱中症対策の観点からも体育館への空調完備を早く整えてほしい。
- ・通学時の安全対策。適正な通学路。
- ・最近 SNS 上のトラブルが多くなってきているので、部活動を豊富にしてほしい。またスマートフォンや携帯を持っている学生がいるなら、授業中先生が預かるか学校への持ち込み禁止を学生に伝えてほしい
- ・小学校からでも海外からの留学生などを受け入れてもいいと思う
- ・子供の少ない地域では学校の部活動の数が減っていると聞きます。多くの選択肢の中から子供に合うものを選べるよう、学区外からも通学できるように検討していただきたいです。そのためには親が送迎しなければいけない場合もあるので、登下校時間等を柔軟に対応していただきたいです。
- ・英語をベースにした教育が必要です。
- ・安全な通学路（交通面や不審者面）。子供たちが安心して教育を受けられる環境。
- ・子供一人一人に対して行き届いた教育と子供別に良いところを伸ばせてあげられる教育。通勤距離も含めた安心安全な教育環境と地域とのコミュニケーションを保ち、地区全体で子供環境の手助けが必要
- ・上三川町内の小学生の通学方法は徒歩のみのため、今後少子化に伴い、もし学校の統廃合などを行った場合、通学時間が長くなる児童向けにスクールバスやスクールタクシーなどがあると通いやすくなると思います。
- ・私は年なのでよくわからないのですみません。
- ・児童数が少なくなるため、小中一貫が必要であり、新しい学校形態を検討していくことが必要であると思う。義務教育学校を設置すべきでありともに設置されている学校からの問題点を再度確認し教育活動や通学の問題改善につながると考える。通学についてはバスの送迎も必要。小学生中学生の部活においては、校庭の問題もあるため使用しなくなった学校の校庭を活用。部活のためのバスの送迎も必要である。
- ・少人数の通学班見直し（バスを使う）。共働きや片親が仕事に影響しないように学童の長時間の利用や、受け入れ人数を増やしてほしい。学校を選択の自由か児童一人一人の勉強のどこがわからないのかの理解をして、できるようにしてほしい。（苦手克服）
- ・小学校はスクールバスを活用し、安全に通学することで小規模高をなくすべきと考える。上三川町の小学校は3校から2校程度で充実させた教育をした方が良い。人件費の削減にもなる。小中一貫の利点がわからないので有効ならそれも良い。小学校中学校ともエレベーター

- はあった方がよい。中学校は自転車やスクールバスを活用して通学できるので、小規模校をなくすべき。学校を集約して部活の専門の人を雇って部活動を続けてほしい。
- ・ 第一に、子供の安全の確保（通学時間、距離が長くなることで子供の安全が損なわれることがないように。保護者が送迎しないと心配、ということがないように）。また、新しい学校形態を取り入れていく場合、子供へのストレスが最小限で済むように十分配慮しながら進めていただきたい。
 - ・ 少子化により、児童の数がへっていることから、今度統廃合は、避けられないと考えます。統廃合または新設するにあたっては、子供たちの通学の安全が大事になってくると思います。信号機や横断歩道の設置、不審者が隠れやすそうな場所、空き家の撤去など子供達が安心して通学できる環境を整えることが重要であると考えます。
 - ・ 私自身、小規模学校出身で小学校、中学校合同の校舎で教育をうけてました。少子化の現状は避けられない状況です。だからこそ、一人一人に応じたきめ細やかな教育を受け、伸び伸びと成長していった欲しいというのが私の願いです。話は戻りますが、小規模学校だったからこそ低学年の子をいたわる、できない事をフォローする。運動会準備等、力仕事は小学生ではできないところを担ったことで保護者の負担を減らせたことはありました。
 - ・ PTAの廃止。学校の（特に体育館）老朽化はどうにかしてほしい。
 - ・ 現状少子化なので、まず、国と自治体が手を組み改善する事だと思えます。安心、安全で子供が産めるよう環境を作ることが優先だと思えます。いろいろ大変だと思えますがお願いします。
 - ・ 教育活動で大切なのは、子供が気持ちよく学べる環境が必要ということでアンケートをいただきました。不登校になったりいじめや、長期休み明けの自殺などがないような心のケアも大切だと思えます。先生の長時間労働も子供にストレスにならないような世の中にしていきたいですね。
 - ・ 児童生徒の減少に伴い学校の統廃合は仕方ないかもしれませんが、身体の小さい小学校の登校時間は配慮して欲しいと思えます。また、登下校時の子供の安全について、地域で支えられるような仕組みがあったらいいのではと思えます。
 - ・ 昔に比べて、地域の方とのかかわりが薄くなったことで通学時にも犯罪に巻き込まれることが増えたように思えます。また、共働きも増えたため、学校行事の負担が大きくなり、保護者も大変になっているかなとも感じます。大人全体が協力することでより良い教育ができるのではないかと思います。1番は各ご家庭で子供に学校はどうか聞き、その都度対応していただければと思えますが、学校の先生の負担を考えるとそこも難しいように思えます。
 - ・ 教育の質を高めるために必要だと感じるのは、1クラスに最大20名程度、清掃のアウトソーシング、1学年20名いないのであれば廃校を決め、別の所へ通わせる。学校は建て替えた方がいい。大規模改修等は無駄とは思わないのが延命処置でしかなく、新しい建設基準に則したものにはならない。安全を児童、生徒に与えるならば早急に建て替えの実施をしていただきたい。
 - ・ 校内、通学路の防犯対策の強化、タブレット等を有効に使用した教育環境
 - ・ 子供が少ない学校は合併するなり対策が必要。
 - ・ バス会社と連携し、通学バスの導入。
 - ・ ゆとり教育の概念はなくすべきであり、一人一人をもっと洗練すべき。日本の未来のために。
 - ・ 少子化により、登校班が作れなくなることが心配。登下校も安心して行き来できるようサポートが必要（ガードレール、信号、外灯）。街の中心に外灯が多く感じる。駅周辺、学生が

多いのに、薄暗いのが気になる（石橋はオルゴール時計があったり、外灯も多い）。小学生の下校時、付き添ってくれているベストを着た方々が横断歩道を渡し安全確認をしている姿を見ていて、小さい子を持つ母としてありがたいと思う。自分の地域の小学生が減っていること、5年後入学する頃は何人になってしまうのか、統合するなど、早めにわかれば、見通しが立つので安心できる。楽しく学校に通えるよう、子供は少っているが、上三川がいい町だな、いい学校だなと思えるよう、環境を整えて行ってほしいです。歩道と外灯、お願いしたいです。

- ・子供達が安心、安全に生活を送れる環境作り。(通学、学校内全てにおいて)
- ・いろんな個性の子供たちを、受け入れること
- ・通学時の見守りの強化
- ・勉強して目指すものが何か、目指せるものを見つけられる体験など。良い学校に行って、いい会社に入ってではなく、いろんな人の話を聞いたり、体験したり。
- ・通学時の安全が第一です。事故事件に遭わないように、健康を害さないように、対策が必要です。私の年代は丙午の翌年生まれて、1クラス40人、6学級以上の小中学校生活でした。(埼玉県) 毎年のクラス替えてコミュニケーションカや協調性積極性は身につきましたが、何百人の同級生を覚えることはできませんでした。私の子どもたちは上三川町でのびのびと学校生活を送ることができ、一生付き合える友達に出会えました。やはり学校の規模は重要だと感じます。
- ・障害児への配慮。(学童など) 友達同士の仲立ち
- ・通学時に時間がかかるようなら、学校近くに引越しが検討できるよう、費用の補助をしたり、物件の案内ができるようにする。
- ・今後の国際化に向けて、実用的な勉強や積極的な異文化授業を小、中学校から行っては？
- ・子供の教育活動に関しては、上三川町の小中学校は小規模のように見受けられます。今後子供を任せようと考えたら、小規模がゆえに色々活動が限定されてしまうのではないかと不安に思います。人が少ないため、部活動が盛んでなかったり、子供が色々な人と関わるのができなかったりと、上三川町で子育てを続けるかと考えるようになります。義務教育学校の話を進めたり、学校プールや体育館を様々な学校と共有化したり、部活動の合同練習など新しいカタチに色々変化していくことが、必要だと思います。
- ・町内の学校施設の老朽化を改善する工事の際には学区の見直しを行い、適正規模になるようにしたらどうであろうか。また、小中学校ともに工事が必要な場合には、義務教育学校の導入を検討しては。それにより、児童への教育的配慮や教員の配置に関する問題が解決するのであれば、児童、保護者、並びに地域住民も納得すると思う。
- ・通学時間がいまよりかかってしまうのは、どうかと思います。スクールバス導入も導入する前に、メリット、デメリット、運行情報など教えていただきたいです。(地域住民) スクールバス内の子どものトラブルも心配です。
- ・ブラック校則の改善、子供達が自分らしく快適に学校生活を送れるように見直し。街灯の設置などの環境整備。
- ・一部の学区の子供達だけの学区変更をするのだけではなく、そもそも住宅地を作る場所を考えた方が良くはないでしょうか。生徒数の多い学区に新しい家が多く立つので、その学区の子供が増えるのは必然的ですね。それで、子供だけが学区の変更を迫られるのは、大人の勝手な都合だと思います。地域の活用や育成会の活動、登校班などのことは考えていますか？義務教育学校やスクールバスには賛成です。

- ・私の地区は昨年上三川へ引っ越してから知る限りでは、自分の子供と同世代の子供がいません。また、将来指定の小学校へ通学するとなった場合、交通量の多い国道の横断や、高低差のある坂、過去事件、事故があった通りを通学することになります。距離も3km以上ありますが……もし現在指定している小学校が統合等により他の学区に編入となった場合、到底徒歩で通学できる状況ではない為、その際はスクールバス等の通学措置をお願いしたい。※学校の適正規模、配置については、私自身栃木の最過疎出身で、1学年30人未満であった為、2学級以上の規模について懸案は想定できないが、1つの学級に児童がある程度いる方が多様な機会に恵まれると思います。
- ・上三川町の少子化はそもそも若い子育て世帯が移り住める場所が無い事にあると思います。どんなに学校教育に力を入れても通う子供がいないのであれば無駄です。まずは町の子供達がどうしたら増えるのか、移住したいと思えるのかを考えた方がいいのでは無いでしょうか？市街化調整区域という法の縛りもあるでしょうが、農家も高齢化です。使っていない農地は残しておく必要があるのでしょうか？そういう場所に住宅が建ち若い世代が増え子どもが増えない事には質問にもあった多クラスという選択もそもそもできません。これからの上三川町の子供教育を考えるのであれば是非、教育委員会の方でも町にそういったお話をしただけいたら幸いです。

[資料 : アンケート調査内容]

●あなた自身のことについてお聞きします

問1 あなたの年齢について教えてください【1つに〇】

※令和5年4月1日現在の年齢でお答えください

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代
6. 60代以上

問2 あなたの職業について教えてください【1つに〇】

1. 自営業、事業主（農業等を含む） 2. 会社員、公務員など
3. パート、内職、アルバイト 4. 家事専業
5. 学生 6. 無職
7. その他

問3 あなたのお住まいの小学校区を教えてください【1つに〇】

1. 本郷小学校 2. 本郷北小学校 3. 上三川小学校 4. 坂上小学校
5. 北小学校 6. 明治小学校 7. 明治南小学校

問4 あなたの同居する家族について教えてください【あてはまるものすべてに〇】

1. 未就学児がいる 2. 小学生がいる 3. 中学生がいる
4. 高校生がいる 5. あてはまるものはない

●小学校の望ましい通学時間

問5 国は、小学校までの通学時間（距離）の目安をおおむね1時間（4キロメートル）以内としていますが、どの程度の時間までが徒歩で通学可能な範囲と考えますか【1つに〇】

1. 15分以内 2. 30分以内 3. 45分以内 4. 60分以内
5. 時間は問わない

●小学校の学級数

問6 国は、小学校の1つの学年は、1学年当たり2～3学級（1学校当たり12～18学級）を標準としていますが、何学級が適当だと考えますか。【1つに〇】

※栃木県では1学級あたりの上限は35人としており、児童数が35人を超えると2学級編成となります。

1. 1学級 → 問6-1へお進みください
2. 2学級 → 問6-2へお進みください
3. 3学級以上 → 問6-2へお進みください

問6で「1」を選択した方にお聞きします

問6-1 問6で、1学年当たり「1学級」と答えられた方は、そう考える理由をお答えください【2つ以内に○】

1. 一人一人に目が行き届いた、きめ細やかな指導を受けることができる
2. 学校行事で一人一人が自主的に活躍できる場がある
3. 異学年と接する機会や交流があり、学年を超えた友だちがしやすい
4. 同じ児童と同じクラスで過ごすことができ、親密になることができる
5. その他 ()

問6で「2」または「3」を選択した方にお聞きします

問6-2 問6で、1学年当たり「2学級」または「3学級以上」と答えられた方はそう考える理由をお答えください【2つ以内に○】

1. クラス替えがあり、たくさんの友だちができる
2. 子ども同士が刺激しあい、切磋琢磨する機会が増える
3. 協調性を養う機会に恵まれる
4. たくさんの先生や友だちから、多様な考えに触れることができる
5. その他 ()

●小学校の小規模校対策

問7 児童数が少ない小規模校対策として、どのような方法が考えられますか【2つ以内に○】

1. 通学区域（学校区）の変更や柔軟な運用を検討する
2. 学区外からの通学者を増やす方策を検討する
3. 小規模校間での学校の統廃合を検討する
4. 小中一貫校の新設等、新しい学校形態を検討する
5. 複式学級になっても存続させる（2つ以上の学年をまとめて1学級にする）
6. その他 ()

●小学校の大規模校対策

問8 児童数が多い大規模校対策として、どのような方法が考えられますか【2つ以内に○】

1. 通学区域（学校区）の変更や柔軟な運用を検討する
2. 学区外へ通学できるための方策を検討する
3. 学校の分離新設を検討する
4. 今後は児童生徒の減少が見込まれるため現状のままでよい
5. その他 ()

●中学校の望ましい通学時間

問9 国は、中学校までの通学時間（距離）の目安をおおむね1時間（6キロメートル）以内としています。どの程度の時間までが自転車で通学可能な範囲と考えますか【1つに○】

1. 15分以内
2. 30分以内
3. 45分以内
4. 60分以内
5. 時間は問わない

●中学校の学級数

問10 国は、中学校の1つの学年は、1学年当たり4～6学級（1学校当たり12～18学級）を標準としていますが、何学級が適当だと考えますか【1つに○】

※栃木県では1学級あたりの上限は35人としており、生徒数が35人を超えると2学級編成となります。

- | | | |
|------------|---|---------------|
| 1. 1学級～3学級 | → | 問10-1へお進みください |
| 2. 4学級～6学級 | → | 問10-2へお進みください |
| 3. 7学級以上 | → | 問10-2へお進みください |

問10で「1」を選択した方にお聞きします

問10-1 問10で、1学年当たり「1～3学級」と答えられた方は、そう考える理由をお答えください【2つ以内に○】

1. 一人一人に目が行き届いた、きめ細やかな指導を受けることができる
2. 学校行事で一人一人が自主的に活躍できる場がある
3. 異学年と接する機会や交流があり、学年を超えた友だちをつくりやすい
4. 同じ生徒と同じクラスで過ごすことができ、親密になれる
5. その他（ ）

問10で「2」または「3」を選択した方にお聞きします

問10-2 問10で、1学年当たり「4～6学級」または「7学級以上」と答えられた方は、そう考える理由をお答えください【2つ以内に○】

1. クラス替えがあり、たくさんの友だちができる
2. 子ども同士が刺激しあい、切磋琢磨する機会が増える
3. 協調性を養う機会に恵まれる
4. たくさんの先生や友だちから、多様な考えに触れることができる
5. その他（ ）

●中学校の教科指導

問11 中学校では生徒数の減少に伴い学級数が減ると、各教科を専門とする教員が不足する課題が生じます。これを解決するにはどのような方法が有効と考えられますか【2つ以内に○】

1. 通学区域（学校区）の変更や柔軟な運用を検討する
2. 学区外からの通学者を増やす方策を検討する
3. 学校の統廃合を検討する
4. 小中一貫校の新設等、新しい学校形態を検討する
5. その他（ ）

●義務教育学校について

問12 栃木県内では、小山市、下野市、那須塩原市、佐野市に義務教育学校が設置されています。義務教育学校の設置についてどう考えますか。【1つに○】

※義務教育学校とは、小学校と中学校までの義務教育9年間を一貫して実施する学校です。

1. 設置をすべきである
2. どちらかといえば設置をすべきである
3. どちらかといえば設置すべきではない
4. 設置すべきではない
5. その他 ()

●地域コミュニティとしての機能

問13 地域コミュニティにおいて学校にはどのような機能が必要だと考えますか【2つ以内に○】

1. 児童生徒が快適に学習できる環境であること
2. 地域に開かれた文化・スポーツ活動の拠点であること
3. 地域の子育て支援機能との複合的な施設であること
4. 地域の高齢者福祉機能との複合的な施設であること
5. 地域の防災拠点として安全・安心な施設であること
6. その他 ()

教育委員会では、少子化による児童生徒数の減少や、学校施設の老朽化に対応した、よりよい教育環境の整備を図るため「学校の適正規模・適正配置」に向けた基本方針の検討を予定しています。子どもの教育活動や通学などの視点から配慮することは何だと思えますか。以下の欄に自由にご記入ください。#

ご協力いただきありがとうございました。